

# 北海道議会時報

昭和59年第4号

第3回定例会  
企業会計決算特別委員会(58年度決算)



北海道議会事務局

北海道議会時報第36巻第4号(昭和59年第3回定例会)

(表紙写真説明)

### 冬こそ北海道

オホーツク海をうずめつくす大流水群、華麗な丹頂の舞い、白鳥のまぶしい白など冬ならではの“白”の魅力。また、氷雪像や氷彫など冬の芸術を創り、冬の大自然と一緒に楽しむ雪まつり、氷まつりなど、冬こそ北海道。

**写真は、オホーツク海の流水と鷺である。**

(社団法人 北海道観光連盟提供)



## 水沼徳一郎議員逝去

議員水沼徳一郎氏（自民、根室支庁選出）は、7月31日午後3時50分、肺癌のため、札幌医科大学附属病院において逝去され、8月9日、別海町民体育会館において、告別式が執り行われた。享年60歳。

なお9月26日、第3回定例会本会議において、岩崎守男議員（社会、釧路市選出）から追悼演説が行われ、次いで、全員起立のうえ黙祷がささげられた。

### 追 悼 演 説

ここに、故水沼徳一郎先生のありし日のことを心静かに回想しつつ、謹んで追悼の言葉をささげたいと存じます。

水沼先生の訃報に接したとき、私は、まさに声をのんで哭すの状態に陥りました。そして、同時にまた、脳裏に浮かびましたのは、内に秘めたる闘志をいつも温顔に包んで諸般の難関に当たられ、それをまことに適切に処理されたことであります。さえた手腕、力量と申しましようか、明快な洞察力でありました。

先生は、全国一広い行政区域を有する別海町を基盤とされ、村会議員として卓越した実績を持ち、衆望を一身に集められ、北海道議会議員としてみごとな進出を果たされました。

また、ふるさと別海町を北海道の酪農郷の典型として全道のモデルとしての地位を確立されましたことは、衆目の一致して認めるところでございます。

先生は、道議会議員としての4期10年間にわたり、まことにむずかしい問題に直面されこれを円満に解決されました。

まず、建設委員長としては、会期の延長にまで及んだ近年まれに見るむずかしい議案、損害賠償の額の決定に関する件がございました。また、道民世論も大きく分れた、いわゆる日高横断道路問題の連合審査がありました。そして、有珠山の噴火に打ちひしがれた住民のために第2次災害の防止対策に奔走されたことなどがございます。

さらに、議会運営委員長としての職責がございました。議運委員長の仕事はむずかしく、かつ重い仕事でございます。突発する難問題をいかに適切に、いかに敏速に処理するかに心を砕かれておられた姿がほうふつとしてまいります。

お許しをいただいて、私の個人的な感慨を申し述べさせていただきたいと存じます。

水沼先生が議会運営委員長の任にありましたとき、私は、野党の社会党の筆頭理事として、激しく水沼委員長と対立し、また、追及いたしましたことがしばしばございました。いまにして思いますと、委員長に対して大変御迷惑をおかけし、同時に、礼を失した点のあったことを謹んでおわびいたさなければならぬという心境になっている次第でございます。

出身地域が同じ道東ということもございまして、先生と同じ列車に乗り合わせたことも幾度かございました。車中における雑談、懇談の中で、水沼先生の片言隻句にうなずかざるを

得ない点が数々ございました。

特に、釧根地域の開発問題、草づくりから始まる酪農問題、そして食糧基地としての北海道農業の問題でありました。現行制度の不十分を語り、後継者対策について力説し、冷害農家の救済に言及し、いま、われわれは何をしなければならぬかを説いてとどまることを知りませんでした。地域の振興と北海道農業の発展に献身される先生の情熱に私は深い感銘を覚えたところでございます。そのけいがいもいまはむなしく、突然、死の門をくぐり、黄泉の旅路につかれてしまいました。

私は、この場で、「日暮れの道を急ぐ旅人ではあるまいし、なぜそんなに急ぐのですか。」と、その後ろ姿に万感の思いを込めて叫び、そして、許されるならば、「水沼先生、戻っていらしゃい。」と声をかけたい切なる思いでございます。

行年60歳、まだまだ若い年齢で、特に政治家としていろいろな抱負をお持ちになり、計画されていた先生の御心中と御遺族の皆さんの悲痛の思いを察するとき、慰めの言葉もございません。ただただ寂寥の感ひとしお、深く長恨の思いでいっぱいでございます。

水沼先生、ごらんください。

あなた御自身の体験に基づき、デンマークなど酪農先進国へ派遣された青年の手によって、北海道の各地で先生の夢が種まかれ、花咲きつつあります。必ずや近い将来に大きな実を結ぶことでしょう。

私ども先生の意図するところを受け継ぎ、北海道の発展のために一層努力してまいりたいと存じます。

願わくば、天にありて、御家族の御健勝と私どもの上に一臂をおかしいただきたいとお願い申し上げます。

ここに、従六位勲五等瑞宝章に輝く北海道議会議員・故水沼徳一郎先生の御遺徳をしのび、お別れの言葉といたします。

水沼先生、安らかに眠りください。



## 坂下 堯議員逝去

議員坂下 堯氏（無所属、宗谷支庁選出）は、8月21日午後3時15分胃癌のため、札幌市中央区の同交會病院において逝去され、8月28日、浜頓別町青少年會館において告別式が執り行われた。享年62歳。

なお、9月26日、第3回定例会本會議において、青山正男議員（自民、網走支庁選出）から追悼演説が行われ、次いで、全員起立のうえ、黙禱がさげられた。

### 追 悼 演 説

私は、いま、この本會議場において坂下堯先生の追悼の言葉を述べようとは……。

日ごろ御壯健でありましただけに、去る8月21日の突然の訃報に接し、わが耳を疑わざるを得ませんでした。もう再び生前のあの温容に接することができませんことは、まことに痛恨のきわみであり、ここに謹んで哀悼の言葉を申し述べます。

あなたは、去る6月5日開会の農地開發委員会にいつもと変わらぬ元気なお姿で出席され、藍綬褒章受章に対して、農地開發委員会としてそのお祝いを御披露申し上げた際、坂下先生は、この榮譽は坂下がいただいたものではなく、私を選んでくださった多くの方々のものであって、この受章をもって終りとせず、出発点として今後とも地域住民のため、そして、北海道發展のために努力を傾注したいとの答礼があったのでありまして、あなたの高邁な政治理念と情義に厚い円満なお人柄がしのばれるのであります。

いまにして思えば、この言葉が、あなたが議会で発言された最後になったのであります。道議會も、道政も、そして地元の方々も、これからのあなたに、より大きな期待をかけていただけに、この悲しい命運を嘆かずにはいられないのであります。ましてや、御遺族に思いを至せば、お慰めの言葉もありません。生前の御功績を思い起こせば限りなく、人柄をしのべば語り尽くせないのであります。ここに、あなたの生前歩んでこられた足跡をいま一度思い起こさせていただきます。

あなたは、昭和18年、東京高等獸醫学校獸醫学科を卒業された後、みずから農業を営む傍ら、家畜診療所と装蹄業を営まれておられたのであります。生来の才気は内に黙すことを許さず、期するところがあり、なおかつ、あなたの学識と豊かな経験は地域の人々の力強い衆望を担い、昭和24年、弱冠27歳にして頓別村議會議員に當選されるとともに、昭和32年には、農業者の熱い御支持により浜頓別農業協同組合長に推されて本年5月までその要職を歴任される一方、北海道農業協同組合中央會理事等に就任し、本道農業の振興に献身されたのであります。

昭和30年4月には、地域住民の衆望を担って道議會議員選挙にみごと當選を飾り、自爾、昭和42年まで連続3期12年、道議會議員として道政發展のために活躍された後、昭和44年3月、地元町民の支持を受けて浜頓別町長に當選され、3期10年余の間、豊富な知識と経験を

もとにその行政手腕を発揮し、町政の発展と住民福祉の向上に多大の貢献をされたのであります。昭和58年4月、再び道議会議員に当選されて活躍中のあなたは、道政に参画されること13年余にわたり、その重厚な風格の中に毅然たる政治信念を秘め、豊富な識見と非凡なる政治手腕を買われて、農地開拓委員長を初めとし、農務、水産、冷害対策及び予算特別委員会の各副委員長の要職を歴任されるとともに、多くの常任及び特別委員に選任されたほか、この議場はもちろん、委員会におきましても道政の諸問題について論陣を闘わせました。

とりわけ、農業問題につきましては、豊富な知識とすぐれた見識をお持ちになり、寒地農業の確立等を初め、農業振興にかかわる問題を提起し、その解決を図るとともに、本道における土地改良及び農用地造成事業の推進に関し並み並みならぬ熱意を示され、また、水産行政に対しましても卓越した識見を持たれ、栽培漁業の振興等の重要性を痛感し、その推進について努力を重ね、その実現に力いっぱい奔走されました。

昭和58年、再び道議会議員に当選され、この壇上から3回にわたり、あなたの質問を拝聴し、その見識の豊かさと造詣の深さに敬意を表したものであり、いまでも、この壇上に立って凛とした声で質問される坂下先生のお姿が眼前に浮かんでまいります。

また、昨年の9月、農地開発委員会の道外調査において、私は、坂下先生と御一緒に北陸路を視察調査いたしました。坂下先生は、大変話好きの方で、旅行中、道政の諸問題を初め、豊富な話題で委員の方々と歓談されておりました。そして視察中、疲れを全く感じさせず、終始、熱心に調査を続けておられたお姿を拝見し、坂下先生は情熱家であり、また強靱な体力の持ち主という強い印象が私の脳裏に焼きついております。

このたび、あなたの地方自治に対する多くの御功績とお人柄が認められ、本年の4月29日に藍綬褒章を受章されるとともに、このたびの訃報が伝わるや、従五位勲四等旭日小綬章を授与せられましたことは、あなたの生前の御功績を物語るものでありまして、御一門の榮譽これに過ぐるなく、長く青史に輝くものと存じます。

あなたは、今年の春以来、体の不調を訴えられ、入院するなどして静養に努められ、奥様を初め、御家族の献身的な看護と近代医学の手厚い治療を受けられていたのですが、8月21日、午後3時15分、忽然として帰らぬ旅立ちをされました。いま静かに目を閉じて振り返ってみますと、道政を論じてのあなたが、その卓越したる識見と温容に接した歳月は夢のごとく、いま幽明境を異にし、再びこの議場において相まみえることあたわずとは、世の無情、身にしみて慟哭を禁じ得ません。万感胸に迫るものがあり、哀悼これに過ぐるものはないところであります。

海の町、花の町、そして牛の町ふるさと浜頓をこよなく愛し、発展を願い、さらには宗谷地域の振興と北海道の進展のため、いちずに情熱を傾けられました坂下堯先生の御功績を重ねてたたえ、謹んで哀悼の意を表し、ひたすら御冥福をお祈り申し上げ、追悼の言葉といたします。

### 第3回定例会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	11
意 見 案	13
請 願・陳 情	18

### 委員会 の 動 き

議会運営委員会	21
常 任 委 員 会	28
特 別 委 員 会	37
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
予算特別委員会	
企業会計決算特別委員会	

### 会 合

全国都道府県議会議長会	50
10都道府県議会議長会	50
北海道・東北6県議会議長会	50

### 資 料

第3回定例会において議決を経た 条例の公布調	52
北海道議会議員補欠選挙結果（根 室支庁、宗谷支庁各所管区域）	53
北海道議会議席表	55

### 7・8・9・10月のメモ

# 議 会 日 誌

## ▶ 8 月

- 7 日 (火) 各常任委員会
- 16 日 (木) } エネルギー問題調査特別委員会
- 17 日 (金) }
- 20 日 (月) }
- 21 日 (火) }
- 28 日 (火) } 企業会計決算特別委員会
- 29 日 (水) }
- 30 日 (木) }
- 31 日 (金) }

- 11 日 (木) 議会運営委員会  
本会議 (一般質問)
- 12 日 (金) 議会運営委員会  
本会議 (議席の一部変更及び補欠議員の議席指定、補欠議員の常任委員選任一般質問<3人>)
- 15 日 (月) 議会運営委員会  
本会議 (一般質問<4人>)
- 16 日 (火) 議会運営委員会  
本会議 (一般質問<3人>)
- 17 日 (水) 議会運営委員会

## ▶ 9 月

- 3 日 (月) 総務委員会
- 4 日 (火) 厚生、商工労働、農務、建設、農地開発、水産、文教林務各委員会
- 18 日 (火) 議会運営委員会
- 25 日 (火) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、公害対策特別各委員会
- 26 日 (水) (第3回定例会開会)  
議会運営委員会  
本会議 (議席の一部変更及び補欠議員の議席指定、追悼演説、会期決定<24日間>、補欠議員の常任委員選任、前会より継続審査中の58年度企業会計決算認定、意見案1件可決)

- 本会議 (一般質問<2人>、予算特別委員会設置)  
予算特別委員会 (正副委員長長の互選、予算第1・第2各分科会設置)  
予算第1・第2各分科会 (正副委員長長の互選)
- 18 日 (木) 予算第1・第2各分科会 (各部所管審査)
- 19 日 (金) 議会運営委員会  
本会議 (会期延長<3日間>)
- 20 日 (土) 予算第1・第2各分科会 (各部所管審査)
- 22 日 (月) 議会運営、各常任、石炭対策特別各委員会  
予算特別委員会 (総括質疑、意見調整)

本会議 (各委員長報告、補正予算等可決、追加提案説明、教育委員会委員、収用委員会委員及び収用委員会予備委員の選任同意、意見案6件可決、陳情審査)

### (第3回定例会閉会)

## ▶ 10 月

- 2 日 (火) 議会運営委員会  
本会議 (追加提案説明、北海道監査委員の選任同意、代表質問<1人>)
- 3 日 (水) 議会運営委員会  
本会議 (代表質問)
- 4 日 (木) 議会運営委員会  
本会議 (代表質問<3人>)
- 5 日 (金) 議会運営委員会  
本会議 (一般質問<1人>)
- 8 日 (月) 議会運営委員会  
本会議 (日程延期)
- 9 日 (火) 議会運営委員会  
本会議 (日程延期)

- 23 日 (火) 各常任、北方領土対策特別各委員会

# 第3回定例会

## 景気対策の道単独事業費等

総額 164億9,600 万円余の補正予算可決

### 概 要

- ① 景気対策等に関する補正予算などを審議する第3回定例会は9月26日招集され、補欠当選議員の議席指定の後、会期を10月19日までの24日間と決定。次いで、補欠当選議員の常任委員選任の後、総額164億9,626万円余の補正予算等23件の議案等が上程され、知事から提案説明。次に、前会より継続審査中の昭和58年度企業会計決算について企業会計決算特別委員長から報告の後、討論、採決の結果、認定議決又は意見を付し認定議決。次に、「昭和59年産畑作物価格等に関する要望意見案」を可決して、議案調査のため9月27日から10月1日まで休会した。
- ② 休会あけの10月2日から代表質問に入り、4日に終結し、5日からは一般質問に入り、吉川貴盛議員（自民）からの北教組の座り込み行動等に係る知事答弁をめぐって審議が中断。11日に知事が補正答弁をして、審議が再開され、翌12日には補欠当選議員の議席指定、常任委員の選任を行って一般質問を継続、17日に終結し、予算特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行い、付託議案審査のため18日は休会した。19日に会期を3日間延長、各委員会付託議案審査のため20日は休会とした。
- ③ 予算特別委員会は、10月17日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置のうえ、18日から補正予算等に対する各部所管審査に入り、20日にこれを終え、22日に各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、意見調整の結果、原案可決または承認議決と決定した。
- ④ 会期最終日の22日は、昭和59年度補正予算等に対する予算特別委員長報告及び各付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも、原案可決または承認議決。次に、教育委員会委員等の人事案件2件が追加提案され、知事から説明の後、いずれも同意議決。次に、「泰東丸の实地調査と遺骨収集に関する要望意見案」ほか5件の意見案を原案のとおり可決の後、陳情1件を委員会決定のとおり採択。次に、閉会申請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件はすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来27日目の10月22日午後4時24分閉会。
- ⑤ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出案件	処 理 の 状 況						計
		原案可決	承認議決	意見を付し 認定議決	認定議決	同意議決	報告のみ	
知事	26	20	2	(5)	(2)	3	1	26(7)
議員	7	7	—	—	—	—	—	7
計	33	27	2	(5)	(2)	3	1	33(7)

注 括弧内は、継続審査に係る議決件数を示し外数である。

# 本 会 議

○9月26日(水) 午前10時8分開議、三上勇議長、昭和59年第3回定例会の開会を宣し、引続き、補欠当選議員、村田雄平氏を紹介の後、

**日程第1 議席の一部変更並びに補欠議員の議席指定の件**を議題とし、異議なく原案のとおり決定。次いで、

**日程第2 会議録署名議員の指定**を行い、諸般の報告の後、議長から、元議員 斉藤正志氏(8月1日)及び浜村仙三郎氏(8月28日)の逝去について弔意を表した旨報告。次に、議員 水沼徳一郎氏(7月31日)及び議員 坂下堯氏(8月21日)の逝去について弔意を表した旨報告の後、岩崎守男議員(社会)から、故水沼徳一郎議員逝去に対し、青山正男議員(自民)から故坂下堯議員逝去に対しそれぞれ追悼演説が行われ、次いで全員起立し故水沼徳一郎及び坂下堯両議員の逝去に対する黙祷をささげた後、議事進行の都合により、午前10時30分休憩、午前11時20分再開し、

**日程第3 会期決定の件**を議題とし、今期定例会の会期を、本日から10月19日までの24日間と決定。次に、

**日程第4 補欠議員の常任委員選任の件**を議題とし、村田雄平議員(自民)を農務委員に選任することについて異議なく決定。次に、

**日程第5 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号**を議題とし、知事から提出案件に関して説明。

**日程第6 前会より継続審査の報告第60号ないし第66号**を議題とし、吉田英治企業会計決算特別委員長(社会)から、委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋晃議員(共産)から、報告第63号ないし第65号に関する反対討論があって討論終結。

次いで、採決に入り、報告第63号ないし第65号を問題とし、起立採決の結果、起立多数(共産反対)をもって委員長報告のとおり報告第63号及び第65号は意見を付し認定議決、報告第64号は認定議決。引き続き、報告第60号ないし第62号及び第66号を問題とし、異議なく委員長報

告のとおり報告第60号ないし第62号は意見を付し認定議決、報告第66号は認定議決。次に、

**日程第7 意見案第1号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。

次いで、議案審査のため9月27日から10月1日まで休会することに決定して、午前11時37分散会。

## 企業会計決算特別委員長報告

私は、ただいま議題となりました前会より継続審査の昭和58年度北海道各事業会計決算にかかわる報告第60号ないし第66号の7件につき、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、第2回定例会の7月23日に設置され、直ちに正・副委員長の互選を行なうことともに、委員会運営の方法などを決定し、その後、7月25日の委員会において理事者から決算概要について、また、監査委員からは決算審査意見について、それぞれ説明を聴取した後、実質審議につきましましては、閉会中に継続審査することにいたしました。超えて、8月8日、9日の両日には、関係事業についての現地視察を行い、また別に審査に必要な41項目の資料の提出を受け決算内容の調査を行ったところであります。

次いで、8月21日から関係部局所管の審査に入り、8月30日をもって一切の質疑を終了した次第であります。

以下、関係部局所管ごとの質疑を通じ、論議の対象となりました主な事項について申し上げますと、

林務部所管におきましては、

道有林野事業会計の収支の問題。

企業局所管におきましては、

道営発電所の経営状況と工業団地の土地処分問題。

衛生部所管におきましては、

道立病院のあり方等の問題。

住宅都市部所管におきましては、

北広島団地の開発に係る諸問題。

などでありまして、その内容につきましましては、別紙お手元に配付の審査概要により、御承知いただきたいと存じます。

次に、質疑終結後、各会派代表者間において意見の調整を図りました結果、8月31日の委員会において、全会一致、報告第64号及び第66号は、認定議決、報告第60号ないし第63号及び第65号については、次に申し上げる意見、すなわち、

報告第60号については、

1. 病院事業会計の累積する赤字を解消するため、道立病院の再編整備など、そのあり方について検討するとともに、医療従事者等の適正配置など、経営の健全化に努力すべきである。

次に、報告第61号については、

1. 経営の健全化を図るため、事業計画及び資金計画などについて見直しを行うとともに、森林資源の充実と道有林の持つ公益的機能の増強に努めるべきである。

次に、報告第62号については、

1. 宅地の処分方法に検討を加えるとともに、早期処分について一層努力すべきである。

次に、報告第63号については、

1. 電力受給契約における電気料金の算定に当たっては、将来の健全経営に資するよう配慮すべきである。

最後に、報告第65号については、

1. 現在保有している住宅団地の早期処分について一層努力すべきである。

以上の意見を付し、それぞれ認定すべきものと決定した次第であります。

この間、委員各位には、終始、慎重かつ御熱心に審議を尽くされ、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

○10月2日（火） 午前10時13分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第21号**を議題とし、知事から追加提案説明の後、委員会付託を省略のうえ、原案のとおり同意議決。次に、

**日程第2 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号**を議題とし、**代表質問**に入り、**青山 章議員（自民）**から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、小樽運河埋め立てに係る知事の発言と行動、活性化対策への財



政援助と他の各種開発事業にかかわる財政援助、日高横断道にかかわる環境保全対策協議会の役割と協議対象、苦東計画に対する第2

回定例会における発言と最近における知事の言動

- ② 北海道経済振興上の諸問題に関し、景気回復の遅れとその理由、バイオテクノロジー技術の開発導入などによる今後の本道経済活性化への取り組み、本道経済の自立と財政依存体質のあり方、基盤整備などのための財政投融资の確保、不況に対する認識とその対応、秋枯れ冬枯れ対策と雇用不安問題に対する認識と対処

- ③ 苫小牧東部工業基地開発問題に関し、段階計画にかかわる道の対応、苫東大規模工業基地開発段階計画調査検討委員会からの答申に対する受け止め、次期段階計画及び新北海道総合計画への反映、苫東開発株式会社の自助努力、土地売り渡しの計画、苫東計画に関連する第2回定例会における答弁と苫東会社の経営安定策との関連、苫東会社の経営合理化対策と指導

- ④ 農業問題に関し、第1次産業の振興策の基本的な考え方、本道稲作農業で重圧となっている減反緩和の実現への対処、他用途利用米制度に対する基本的認識と今後の対処、畜産農家の負債の状況と今後の負債整理対策、近代化計画の概要と目標達成のための今後の施策、農家負債整理対策の基本方針、国に対する農業金融制度の改正要望内容、大型融資制度の創設見通し、北海道農業基盤整備事業推進の基本方向実現に向けての対処、農業発展方策との整合性、受益者負担とその軽減策、農業におけるバイオテクノロジーの開発研究、食品の加工研究所構想、干害の被害状況と対策

- ⑤ 当面する道政課題に関し、北海道運輸交通審議会での地方交通線問題の審議と廃止路線のタイムリミット、審議会に対する諮問内容と答申の時期、第三セクターについての調査結果、審議会に諮問する真意、第3次交通安

全施設等整備5箇年計画における4年間の実績と整備された主な施設、交通安全施設整備による交通事故防止効果、第3次5箇年計画の進捗率に対する評価、本道の交通環境の特性と安全施設整備との関連、新長期計画の策定の構想

- ⑥ 教育問題に関し、主任手当支給の正常化と北教組の行動に対する所信、給特条例施行に伴う道教委と教職員団体との間に締結された協定書第1項に基づく外勤の取り扱い、協定書第2項の長期休業中の校外研修の取り決め、組合主催の研修会への参加、校長の権限外の事項での組合交渉、主任手当の支給に係る精査交渉、10.3確認における第2回定例会での指摘事項と校長権限を著しく損っている精査交渉の廃止について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁の後、議事進行の都合により、午後零時14分休憩、午後2時26分再開。議長から、休憩前の本会議における青山章議員(自民)の発言の一部訂正の申し出について報告し、会議録を訂正することを了承の後、同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。高橋康之議員(自民)から議事進行発言があり、議事進行の都合により、午後3時23分休憩、午後4時15分再開し、直ちに延会。

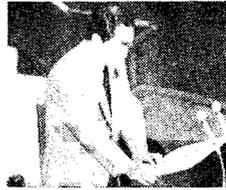
○10月3日(水) 午後4時26分開議、諸般の報告の後、あらかじめ会議時間を延長し、

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号を議題とし、代表質問を継続、知事及び教育長から10月2日の本会議における青山章議員(自民)の再質問に対する答弁。同議員から再再質問の後、知事及び教育長から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、同議員から発言があり、午後5時8分延会。

○10月4日(木) 午前10時15分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号を議題とし、代表質問を継続、高橋 庸議員(社会)から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、日米合同演習に関連しての平和問題、臨時行政改革推進審議会の意見書についての認識、中国との国際交流における道のなし得る分野と自治体相互の国



際交流のあり方、情報公開制度と職員意識の高揚、非公開情報の範囲、戦没者慰霊追悼式の方法と平和を祈念する事業

- ② 経済、財政問題に関し、本道の景気動向、経済、産業の体質強化、国の60年度予算編成に対する道の対処、明年度の道予算編成に対処するための決意
- ③ 産業振興対策に関し、活力ある農村地域形成のための基盤整備、異常気象に対する抜本的恒久対策、メッシュ気候図の有効な活用、漁業後継者の研修体制、日本海の漁業振興対策、道の発注事業や物品購入に当たっての地元小規模業者の活用
- ④ 福祉行政に関し、障害者の街づくり推進事業の継続、障害者の生活環境の改善整備、福祉機器の研究開発
- ⑤ 医療行政に関し、救急医療体制の現況と問題点、二次救急医療体制の整備方向、救急医療情報システムの確立
- ⑥ 環境問題に関し、日高横断道路の建設工事にかかわる環境保全対策の基本的方針、釧路湿原の公園指定の見通し、湿原観光遊覧船の運行、運行コース沿いの立木無断伐採についての見解
- ⑦ 人事委員会の給与勧告問題に関し、数次にわたる給与勧告無視に対する受けとめ、本年度の勧告にあたっての人事委員長の決意と勧告の時期、勧告尊重の知事の決意
- ⑧ 教育問題に関し、北海道高等学校長期収容対策検討協議会の中間報告に対する見解、今後の高等学校の収容対策を検討するに当たっての見解について

質問があり、知事、教育長及び人事委員長から答弁の後、議事進行の都合により、午前11時32分休憩、午後1時11分再開。次いで、



高田 忠雄議員(道政)から、

- ① 財政問題に関し、国の予算編成に関連する地方自治体への財政負担軽減に対する基本的

な見解と道財政への影響、道財政の現状と運用、道税の未収についての受けとめと今後の取り組み、健全財政への取り組み、行財政の改革と職員の適正配置、調査会の審議における明年道予算編成にかかわる留意事項、市町村財政の現状と道の指導性、固定資産税の評価基準の改定と道の指導性

- ② 本道の自立活性化に関し、自立活性化対策の基本方向、電子産業の立地促進、自立活性化と地域指定
- ③ 観光レクリエーションの振興に関し、道内観光地の施設整備に当たっての今後の進め方、温泉観光地の活性化対策、多目的な温泉健康センターの施設の計画的導入と助成措置、観光レクリエーション公社設立のための基金積立などの資金面の検討、観光会館の建設
- ④ 自治体外交に関し、中国訪問の成果、北方領土返還要求のための訪米に際しての外交力点、漁業問題解決などのため北朝鮮、ソ連などを訪問する考えについて

質問があり、知事から答弁。次いで



柳谷 正一議員(公明)

から、

- ① 道の財政運営に関し、昭和59年度税収の当初の見込額及び現時点までの実績並びに今後の見通し、減債基金など財政調整のための基金の残高、明年度予算の編成方針、簡素効率化調査会への諮問についての見解、明年度に向けての財源確保策
- ② 医療、福祉行政に関し、疾病予防の基本認識、本道医療の現況、医療対策の取り組み、医師研修センターの設置、地域生活経済圏構想における医療体制、家庭医制度の推進、国の福祉関係予算削減方針への対応、福祉についての基本的な考え方、老人福祉に対する現状認識と具体的な推進方策、痴呆性老人対策の位置づけ、痴呆性老人の相談体制の充実と予防活動の推進、道民の福祉教育の推進、高齢者のニーズを行政施策へ反映させる方策、高齢者に対する総合的対策と推進体制の充実
- ③ 函館ドックの問題に関し、道の対応策と支

援策

- ④ 教育問題に関し、現行の北海道教育長期総合計画期間内における公立幼稚園等整備の見通し、新教育長計の策定と協議機関の設置について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁があって、午後3時20分延会。

○10月5日(金) 午後3時8分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号を議題とし、一般質問に入り、吉川 貴盛議員(自民)から、

- 道政上の諸問題に関し、北教組の教育長辞任要求の座り込み行動等の経過及びその事実についての認識、道庁舎集団座り込みに対する北海道庁舎等管理規則違反の見解、同規則第16条の禁止規定との関連、庁舎管理者の退去命令に従わない場合の排除、北教組の行動と学校教育における教師について

質問があり、知事から答弁。木本由孝議員(自民)から議事進行発言があり、議事進行の都合により、午後3時15分休憩、午後4時29分再開。議案調査のため、10月6日は休会することに決定して、午後4時30分延会。

○10月8日(月) 午後3時20分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して、午後3時21分延会。

○10月9日(火) 午後2時27分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して、午後2時28分延会。

○10月11日(木) 午後4時46分開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、直ちに休憩、午後5時33分再開。諸般の報告の後

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号を議題とし、一般質問を継続、知事から10月5日の吉川貴盛議員(自民)の質問に対する補足答弁があって、午後5時36分延会。

○10月12日（金） 午後1時11分開議、諸般の報告の後、議長から補欠当選議員湯佐利夫氏を紹介。次いで、

**日程第1 議席の一部変更並びに補欠議員の議席指定の件**を議題とし、異議なく原案のとおり決定。次いで

**日程第2 補欠議員の常任委員選任の件**を議題とし、湯佐利夫議員を農地開発委員に選任することについて異議なく決定。次に、

**日程第3 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号**を議題とし、**一般質問**を継続、**大内 良一議員（社会）**から

- ① 大都市問題に関し、政令指定都市制度の認識
- ② 冬期生活における諸問題に関し、通年施工技術研究協議会におけるこれまでの調査研究内容、今後の課題とこれに対する方針及び最終取りまとめの時期、寒地住宅にかかわる半地下室の構造基準及び施行指針の普及の実態と研究の見通し、地下室に対する割り増し融資制度の新設、ソーラーシステムの研究成果と研究の実態、本道の除排雪対策の現状認識とあるべき方向、都市計画時点での堆雪スペースの確保、交通弱者対策、寒地に関連した各種研究の強化、冬季のスポーツと体力づくり、利雪に対する基本的な考え方について質問があり、知事から答弁。次いで、

**高木 繁光議員（自民）**から

- ① 土木行政に関し、中小建設業の倒産状況と対策、公共事業の発注における中小企業の受注機会拡大の実態とCクラス以下業者の対策、景気対策補正予算の執行における中小企業育成のための具体的な対処、北海道縦貫横断自動車道の着工区間の完成見通し、59年度及び60年度の施工区間、事業量、事業費等の概要、来年度の予算確保に向けての取り組み、調査実施区間の早期着工、基本計画区間の整備、計画区間への組み入れ、予定路線区間の基本計画への組み入れ、主要道路の予定路線への組み入れ、インターチェンジ周辺の開発実績と今後の対処方針、高速自動車道建設促進のための調査実施、道路整備特定財源の一般財源への転用に対する国の動向と対処、

港湾の管理体制と管理行政の基本的な考え方、港湾の整備状況についての認識と今後の対処、国庫負担率の引き下げに伴う地元負担増と発注量、レジャーボート対策、第4次空港整備計画の進捗状況、第5次空港整備計画と新北海道総合計画（仮称）との調整、小型空港の設置、新千歳空港の整備に関連する現状認識と未買収地の取得、空港ターミナルビルの建設、動植物の検疫体制、気象条件に左右されない地方空港整備のための新北海道総合計画及び第5次空港整備5箇年計画への反映、エア・カーゴ基地構想の取り組み

- ② 住宅行政に関し、災害時における避難場所の設定基準と指定施設、建築基準法の一部改正の趣旨と内容、避難場所として指定されている公共施設などの耐震性、現在の避難場所についての認識と今後の対応、道有公共施設の総点検について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があって、議事進行の都合により午後2時48分休憩、午後4時19分再開し、あらかじめ会議時間を延長し、知事から答弁。次いで、

**国本 康夫議員（自民）**から、

- ① ボランティア活動の振興対策等に関し、ボランティア活動に対する基本的認識、ボランティア活動の振興方策と行政施策上のかかわり合い、ボランティア・センターの設置促進、ボランティアプラザの具体的な設置計画、ボランティア情報センターの具体的構想、ボランティア基金の充実、学童生徒のボランティア活動促進の取り組み、社会福祉読本の作成、ボランティア活動推進庁内連絡会議の効果的活動推進策、がん情報テレホンサービス事業の相談指導体制、明年度以降の運営費補助、地方の拠点都市における相談窓口の設置、北海道いのちの電話センターの財政基盤の整備と事業の拡大強化、ユニセフ活動と道民運動、節食ランチによる募金運動
- ② 神経芽細胞腫の検査に関し、検査体制の整備の考えについて

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、議案調査のため、10月13日休会することを決定して、午後5時19分延会。

○10月15日（月） 午前11時28分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号を議題とし、一般質問を継続、  
木本 由孝議員（自民）から、

① 軽種馬の生産と道営競馬に関し、競馬の社会的使命、昨年赤字となった地方競馬主催者数、本年度の道営競馬収支の見通し、道営競馬の合理的運営を進めるための運営組織の検討、軽種馬産業の位置づけ、軽種馬の生産対策に対する取り組み、調教用施設の設置、輸送競馬の実施、悪臭等競馬公害の解消など道営競馬の立て直し方策

② 千歳川放水路計画に関し、放水路建設計画の必要性、ルート案、放水路の規模、構造、放水路建設に伴う問題点、放水路建設に果す道の役割について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時16分休憩、午後1時35分再開。次いで、

西村 慎一議員（道政）から、

① 住みよい北海道づくりに関し、本道開発の推進と人口、就業の場の受けとめ、地場資源利用工業の振興に対する取り組み、開発行政と自立開発の意欲、本道開発のあり方、カラマツ材住宅建築に必要な建築技術の開発、間伐材経費の助成

② 高齢化社会の対応策に関し、高齢者の再雇用対策、生きがいの村など再雇用の場づくりについての考え

③ 日本海漁業の打開策に関し、韓国に対する漁業水域法の適用についての要請活動

④ 港湾機能と地域開発に関し、石狩湾新港地域の分譲計画、小樽港と石狩湾新港の取扱貨物量計画に対する達成の可能性、小樽港の商港機能が新港に吸収される危惧、小樽港と石狩湾新港の機能分担、小樽港と新港とを結ぶ湾岸道路建設計画の凍結解除、小樽活性化委員会の活性化対策に対する道の指導的役割と対処について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があり、知事から答弁。次いで、

浅野 俊一議員（公明）から、

① 開発問題に関し、苫東工業基地開発にかかわる次期段階計画策定の対応、苫東関連住宅

団地用地の有効活用、立地企業の製品の愛用、石狩湾新港地域開発基本計画のこれまでの進捗状況、企業立地の実績等に対する評価と計画目標の達成見通し、基本計画の見直しと当面の対応、石狩湾新港地域への企業立地の推進方策と弾力的効率的な土地利用、石狩開発株式会社に対する経営指導と今後の対処、同社からの土地利用計画の改定・企業誘致優遇策の確立などの要請に対する対処、工鉱業開発促進条例に基づく団地の指定

② 教育問題に関し、教育の現状の認識、主任手当の返還などをめぐる北教組の行動に対する見解、問題解決のための同一テーブルでの話し合い、北教組の教育長辞任要求に対する率直な見解について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁の後、議事進行の都合により、午後3時32分休憩、午後4時28分再開し、あらかじめ会議時間を延長し、次いで

生駒 隆介議員（自民）から

○ 企業誘致と中小企業倒産防止対策に関し、企業誘致の実績、企業誘致の不振の要因とその対策、企業誘致ガイドブックの作成内容と活用方法、外資系企業誘致に当たっての認識と対策、防衛力の整備や労働組合運動などによる企業立地のマイナスイメージに対する対処、企業誘致推進員の身分、報酬、成果、道幹部の企業訪問の実行状況、中小企業倒産の実態と防止対策、中小企業振興資金融資制度を利用する中小企業の経営実態と金融対策、倒産防止対策連絡協議会で協議された問題点の対処、検討された今後の対応策、パイホツカイドウ運動の施策と効果、パイホツカイドウ運動推進会議の構成員、目的、事業計画、運動の時限設定、道における道産品の愛用、道が使用する物品、資材などの地元中小企業製品の購入、道産米の消費拡大と成果について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、同議員から再々質問、知事から答弁の後、午後5時32分延会。

○10月16日（火） 午前10時33分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号を議題とし、一般質問を継続、  
今津 寛議員（自民）から、

- 高レベル放射性廃棄物研究貯蔵施設の諸問題に関し、地元や周辺町村長との話し合いにおける具体的な意向、周辺町村の対象、知事発言と地方自治体などに与える影響、原発廃棄物施設誘致反対道民連絡会議による反対運動とその事務局、主な構成団体名、この運動に対する認識と評価、知事発言と反核・原発運動との関連、高レベル廃棄物施策に対する反対運動を行なっている団体の受けとめと認識、安全性に対する認識、核燃料サイクルの確立について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁の後、議事進行の都合により、午前11時38分休憩、午後2時14分再開。次いで

伊藤 弘議員（自民）から、

- 畜産行政に関し、畜産基地計画における区域の農家戸数、飼養肉牛頭数、1戸当たり農業粗収入と農業所得、計画に対する現在の具体的な実態、これまでの事業の進め方についての認識、今後の畜産基地建設事業の進め方、上川北部基地及び大雪基地の当初計画に対する認識、基地事業の畜舎等の施設投資、農家経済の安定対策、肉専用種導入方針、外国種の畜肉価格の実態と不安定な原因、肉用牛農家の指導について

質問があり、知事から答弁、同議員から再質問、知事から答弁。次いで、

酒井 芳秀議員（自民）から、

- ① 労働行政をめぐる諸問題に関し、道内の雇用情勢に対する認識と当面の具体策、公約した雇用不安の解消策とこれまでの施策、季節労働者の生活実態についての認識、季節労働者の雇用対策、季節労働者通年雇用化推進会議の設置目的、構成員、期待する成果及び協議結果とその対策、国の通年施工技術研究協議会と道の推進会議との関連、季節労働者の就労状況、通年雇用の状況と通年雇用のための各種助成金の活用状況、企業に対する働きかけ、通年施工促進の措置と進行状況、通年施工化が進まない事情と通年雇用に向けての対処、明春の高校卒業者の就職見通し、

新規学卒者の求人確保対策、需給状況や産業構造の変化などによる新規学卒者の対応策、障害者の地域別希望職業別求職数とその対応見通し、公約実現のための取り組み、障害者の雇用促進のための職業訓練、職住近接などの抜本的な施策、福祉村の拡充整備、雇用保険制度の改正趣旨、法の適正運用と有効活用、函館ドック離職者関連の求人状況と再就職の見通し、再就職促進のための体制と働きかけなどの具体的方策

- ② 教育問題に関し、北教組が教育庁庁舎に座り込みを行った経緯、座り込みの庁舎管理規則違反の当否とその対応、北教組との交渉経緯と交渉の議題、組合研修への参加問題、長期休業中の校外研修などに対する教育長発言の内容、教育長の議会答弁に対する受けとめ、座り込みを行った教職員のサービスの取り扱いについて

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁の後、議事進行の都合により、午後4時5分休憩、午後4時24分再開し、直ちに延会。

○10月17日（水） 午前11時55分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号を議題とし、一般質問を継続、教育長から昨日の本会議における酒井芳秀議員（自民）の再質問に対する答弁があって、同議員から再々質問、教育長から答弁の後、議事進行の都合により、午後零時5分休憩、午後1時16分再開。次いで

岩瀬 正人議員（自民）から、

- ① 国鉄地方交通線問題に関し、本道の地方交通線を取りまく情勢についての認識、国鉄に対する現状認識と国鉄の将来予測、バスや国鉄などの輸送分野の調整、国鉄列車ダイヤなどの改善方策、国鉄問題に対する道民の関心を高める必要性、国鉄の分割・民営化に対する考え、総合交通計画と国鉄の分担すべき分野の明確化
- ② 埋蔵文化財行政に関し、埋蔵文化財の保護についての基本認識、最近の埋蔵文化財の発掘件数、面積及び発掘に要した経費、発掘した文化財保管市町村、道の収蔵状況、展示活

用のための施設の現状、埋蔵文化財の収蔵、保管及び研究活用のための施設整備の取り組みについて

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。次いで

**大橋 晃議員（共産）** から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、日米合同演習の中止申入れ、本道における自衛隊施設の日米共同使用に対する政府への反対申し入れ、日米安保条約の廃棄申し入れ
- ② 道民生活にかかわる諸問題に関し、貯蔵工学センター立地環境調査費の要求及び予備調査についての政府、動燃からの連絡協議、国鉄ローカル線廃止第1次線に対する道の態度、本道の鉄道を守るための国鉄再建築と赤字ローカル線の存続要求、千歳川放水路建設に関する環境庁及び北海道開発庁長官の発言に対する受けとめ、問題点の解明とルートへの決定、北海道総合文化開発機構の運営実態の把握、道の委託事業及び補助事業の契約と今後の対処
- ③ 教育問題に関し、北海道高等学校長期収容対策の中間報告と教育条件に対する見解、勤務時間を超える生活指導など教職員の勤務実態に対する懸案事項の早期解決への決意について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁があって、質疑並びに質問を終結。次いで、

**中川 隆之議員（道政）** から、予算に関する案件について、本議会に31人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、議案第1号ないし第6号並びに報告第1号及び第2号を付託の上、審査されたい旨の動議を提出、賛成があって動議成立、これをはかって異議なく可決。動議に係る案件は、予算特別委員会に付託の上、次の委員（配付名簿のとおり）を議長指名により選任。残余の案件については、議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した後、各委員会付託議案審査のため10月18日は休会することに決定して、午後3時2分散会。

#### ○予算特別委員（31人）

遠藤 常二（社会） 相沢 武彦（公明）

今津 寛（自民） 岩瀬 正人（自民）  
小野寺 勇（自民） 国本 康夫（自民）  
酒井 芳秀（自民） 高橋 一史（自民）  
平井 進（自民） 村田 雄平（自民）  
菊地 芳郎（社会） 一野坪 勉（社会）  
工藤 啓二（公明） 高田 忠雄（道政）  
青山 章（自民） 小田部善治（自民）  
佐々木行雄（自民） 橋 浪蔵（自民）  
久田 恭弘（自民） 岩田 徳弥（自民）  
川口 常人（自民） 佐々木利昭（自民）  
高木 繁光（自民） 吉野 之雄（社会）  
輪島 幸雄（社会） 岩崎 守男（社会）  
渋谷 澄夫（社会） 星野 健三（社会）  
湯本 芳志（社会） 笠島 保（社会）  
西村 慎一（道政）

○10月19日（金） 午後2時33分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 会期延長の件**を議題とし、会期を10月22日まで3日間延長することをはかり、異議なく決定の後、各委員会付託議案審査のため、10月20日は休会することに決定して、午後2時34分散会。

○10月22日（月） 午後3時55分開議、諸般の報告の後、議長から、元議員中西秀利氏（10月17日）の逝去について弔意を表した旨報告。

**日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号**を議題とし、

高木繁光子算特別委員長（自民）から、議案第1号ないし第6号、報告第1号及び第2号について

寺崎政朝農務委員長（自民）から、議案第7号及び第11号について

川口常人総務委員長（自民）から、議案第8号及び第13号について

星野健三厚生委員長（社会）から、議案第9号及び第10号について

中崎昭一水産委員長（自民）から、議案第12号、第16号及び第17号について

古川靖晃建設委員長（自民）から、議案第14号、第15号、第19号及び第20号について

岩田徳弥文教林務委員長（自民）から、議案第18号について

それぞれ各委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋晃議員（共産）から、議案第1号、第12号及び第14号ないし第18号に関する反対討論があって討論終結。次いで、採決に入り、議案第1号、第12号及び第14号ないし第18号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり、議案は原案のとおり可決、報告はすべて承認議決。次に、日程第1のうち、議案第2号ないし第11号、第13号、第19号、第20号、報告第1号及び第2号を問題とし、いずれも委員長報告のとおり、議案は原案のとおり可決、報告はすべて承認議決。次に、

**日程第2 議案第22号及び第23号**を議題とし、知事から追加提案説明の後、委員会付託を省略のうえ、いずれも異議なく原案のとおり同意議決。次に、

**日程第3 意見案第2号ないし第7号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、いずれも異議なく原案のとおり可決。次に、

**日程第4 陳情審査の件**を議題とし、委員長報告を省略の上、異議なく委員会決定（採択1件）のとおり採択と決定。次に、閉会申請陳情継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに関係特別委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することに決定して、今期定例会の会議に付議された案件はすべて議了。三上勇議長から閉会に当たってのあいさつあって、午後4時24分閉会。

### 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、去る17日設置され、昭和59年度各会計補正予算6件及び昭和59年度一般会計補正予算の専決処分報告につき承認を求めると2件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、審査の方法等について協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した

次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に久田恭弘君、副委員長に一野坪勉君、第2分科会は、委員長に吉野之雄君、副委員長に岩瀬正人君を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、18日から各部所管の審査に入り、20日をもって各分科会は一切の質疑を終了し、本日の委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、景気対策のための道単独事業費など、当面措置を要する経費などについて所要の措置を講じようとするものであり、総額164億9,600万円余の補正予算でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会において論議の対象となりました主たる事項につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き、各分科会において質疑保留となった事項について総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終了した次第であります。その総括質疑の主なるものを申し上げます、

#### 1. 知事の財政に対する認識について

##### 1. 小樽の活性化委員会について

であります。

質疑終結後、各党派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、いずれも意見の一致を見、先ほどの委員会におきまして、全会一致、議案第1号ないし第6号は、原案可決、報告第1号及び第2号は、承認議決と決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

### 第3回定例会において知事から提出のあった案件

#### 議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
9. 26	1	昭和59年度北海道一般会計補正予算（第4号）	予算特別	10. 22	原案可決
同	2	昭和59年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	3	昭和59年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	4	昭和59年度北海道畜産振興資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	5	昭和59年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	6	昭和59年度北海道病院事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	7	北海道畜産振興資金貸付事業特別会計条例案	農 務	同	同
同	8	農村地域の工業導入地区における事業税等の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	9	北海道ウタリ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例案	厚 生	同	同
同	10	北海道身体障害者更正援護施設設置条例及び北海道身体障害者総合更生援護施設条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	11	北海道改良普及員資格試験条例の一部を改正する条例案	農 務	同	同
同	12	北海道漁港管理条例の一部を改正する条例案	水 産	同	同
同	13	北海道警察組織条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	14	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	15	流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	16	沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水 産	同	同
同	17	漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	18	林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	文教林務	同	同
同	19	工事請負契約の締結（函館市道営高層公営住宅新築工事（大川団地H-1）に関する件）	建 設	同	同
同	20	工事請負契約の締結（函館市道営高層公営住宅新築工事（大川団地H-2）に関する件）	同	同	同
10. 2	21	北海道監査委員の選任につき同意を求める件		10. 2	同意議決
10. 22	22	北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件		10. 22	同
同	23	北海道取用委員会委員及び北海道取用委員会予備委員の選任につき同意を求める件		同	同

#### 報 告

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
9. 26	1	専決処分報告につき承認を求める件〔昭和59年度北海道一般会計補正予算（第2号）、8月16日専決処分〕	予算特別	10. 22	承認議決
同	2	専決処分報告につき承認を求める件〔昭和59年度北海道一般会計補正予算（第3号）、9月13日専決処分〕	同	同	同
同	3	専決処分報告の件（損害賠償の額決定、7月31日8件、8月7日2件、8月13日1件、9月7日1件、9月11日6件専決処分）			報告のみ

## 前会から継続審査中の案件

### 報 告

提出月日	番号	件 名	付託 委員会	議決月日	議事結果
7. 13	60	昭和58年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別	9. 26	意見を付 し認定議 決
同	61	昭和58年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同	同
同	62	昭和58年度北海道北広島閉地開発事業会計決算に関する件	同	同	同
同	63	昭和58年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	同
同	64	昭和58年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	認定議決
同	65	昭和58年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	同	同	意見を付 し認定議 決
同	66	昭和58年度北海道有料道路事業会計決算に関する件	同	同	認定議決

### 第3回定例会において議員から提出のあった案件

#### 意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
9. 26	1	昭和59年産畑作物価格等に関する要望意見書	寺崎政朝議員ほか12人	9. 26	原案可決	農 務
10. 22	2	泰東丸の実地調査と遺骨収集に関する要望意見書	星野健三議員ほか12人	10. 22	同	厚 生
同	3	軍人・軍属恩給欠格者の処遇に関する要望意見書	同	同	同	同
同	4	精神障害者福祉法（仮称）の制定に関する要望意見書	同	同	同	同
同	5	少額貯蓄非課税制度の存続に関する要望意見書	川口常人議員ほか13人	同	同	総 務
同	6	国庫補助負担率の一律引き下げ反対に関する要望意見書	同	同	同	同
同	7	人事院勧告の早期完全実施を求める要望意見書	同	同	同	同

# 意見案

## 意見案第1号

(昭和59年 3定  
寺崎政朝議員ほか12人提出〈農務〉  
昭和59年 9月26日 原案可決)

### 昭和59年産畑作物価格等に関する要望意見書

本道農業は、厳しい自然条件の下で、豊かな土地資源を生かしながら、生産性の高い農業の確立をめざして努めて参りました。

しかしながら、本道の畑作は、土地基盤整備の立ち遅れや海外農産物との競合などに加えて水田転作の実施や畑作物の需要が伸び悩みの状況にあるなど非常に厳しい状況に置かれております。

つきましては、昭和59年産畑作物価格の決定に当っては、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望致します。

#### 記

1. 畑作物生産の位置づけの確保等について  
てん菜、馬鈴しょ、豆類、麦類については、本道畑作の輪作上欠くことのできない基幹作物であるので、国の公表している「農産物の需要と生産の長期見通し」の方向に沿って、その生産の位置づけを確保すること。
2. てん菜及びてん菜糖について
  - (1) てん菜の最低生産者価格  
農家所得と再生産の確保が期せられるよう、奨励金を織り込んだ価格を基礎として適正な価格に定めること。
  - (2) てん菜糖の買入価格  
原料費、集荷製造経費及び製糖歩留り等の実態に即して適正に定めること。
  - (3) てん菜の生産振興対策  
てん菜の生産性と品質の向上を図るため、土地基盤の整備、高糖性品種の開発など生産振興対策を充実すること。
  - (4) 糖分取引への移行対策  
原料の適正な評価と砂糖の効率的な生産を図るため、糖分取引への移行が円滑かつ早期に実現されるよう格別の配慮をすること。
  - (5) てん菜糖の流通販売対策  
てん菜糖の円滑な流通販売と適正かつ安定的な国内糖価を形成するための措置を講ずること。
3. 馬鈴しょ及びでん粉について
  - (1) 馬鈴しょでん粉の原料基準価格  
農家所得と再生産の確保が期せられるよう、適正な価格に定めること。
  - (2) 馬鈴しょでん粉の政府買入価格  
集荷加工経費等の実態に即して適正に定めること。
  - (3) 馬鈴しょでん粉の流通対策  
コーンスターチ用とうもろこしに係る関税割当制度を延長し、適切な抱き合せ販売制度を継続すること。
  - (4) ジャガイモシストセンチュウ防除対策の強化

馬鈴しよの安定的な生産を確保するため、ジャイモシストセンチュウによる被害を防止するための対策を拡充強化すること。

#### 4. 大豆について

##### (1) 大豆の基準価格

農家所得と再生産の確保が期せられるよう、適正な価格に定めること。

##### (2) 大豆の生産振興対策の拡充

大豆の生産性と品質の向上を図るため、優良多収品種の早期開発と収穫乾燥作業の機械化体系の確立を促進すること。

##### (3) 交付金大豆の流通経費

集荷、保管及び調製加工経費の実態に即して適正に定めること。

#### 5. 関連諸対策について

(1) 水田転作による畑作物の生産が、農産物の需給と畑作農家の経営に大きな影響を及ぼしているため、本道に対する転作等目標面積の傾斜配分を是正すること。

(2) 雑豆、でん粉等の残存輸入制限品目については、国内生産を優先し、秩序ある輸入措置を堅持すること。

(3) 肥料、農薬、農業機械等生産資材価格の引き下げ対策を講ずること。

特に、農業機械の部品規格の統一、価格引上げの要因となる不必要なモデルチェンジの自粛など行政指導を強化すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通  
農林水産大臣

#### 意見案第2号

(昭和59年 3 定  
星野健三議員ほか12人提出〈厚生〉)  
昭和59年10月22日 原案可決)

#### 泰東丸の实地調査と遺骨収集に関する要望意見書

本年8月に実施された泰東丸の实地調査は、懸命な作業にもかかわらず、遺骨の取揚を得ずして終了を余儀なくされた。

厚生省は、船内及びその周辺における残存遺骨の可能性がないものと判断され本調査については、今回をもって断念せざるを得ない旨発表された。

しかしながら「遺骨や遺品の収集をみずして、戦後はない」として、自ら調査を行い、また厚生省の調査を支援した全国樺太連盟、現地小平町の関係者はもとよりその調査を祈りにも似た気持でみまもった遺族の胸中を思うとき、道民ひとしくこれが実現を心から願うものである。

国においても、この実情を十分賢察され、明年度についても是非実施されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、厚生大臣 各通

### 意見案第3号

(昭和59年 3定  
星野健三議員ほか12人提出<厚生>  
昭和59年10月22日 原案可決)

#### 軍人・軍属恩給欠格者の処遇に関する要望意見書

第二次世界大戦終了後39年を経過した今日、かつて祖国のため、戦場に赴き、生命をかけた国民としての義務を全うされた数百万の元軍人軍属が、未だに報われない状態にある。

このため、国においては、「戦後処理問題懇談会」を発足させ、鋭意検討中と聞くが、次の項目について、速やかに措置されるよう強く要望する。

#### 記

1. 軍人恩給未受給者に対する軍人軍属恩給法を制定すること。
1. 戦時加算は一律に1カ月に対し、更に1カ月の追加加算とすること。
1. 他国抑留者に対する抑留加算は、更に2カ月の追加加算とすること。
1. 恩給受給年限に達しない1カ月以上の軍歴を有する者に対しても軍人恩給受給者と同率の年金を支給すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、厚生大臣 各通

### 意見案第4号

(昭和59年 3定  
星野健三議員ほか12人提出<厚生>  
昭和59年10月22日 原案可決)

#### 精神障害者福祉法（仮称）の制定に関する要望意見書

今日の精神障害者対策は、精神衛生法による医療と保護を中心とした施策があるのみで、精神障害者とその家族の立場に立っての福祉対策は、ほとんど講ぜられていない状況にある。

最近の精神障害者対策の現状は、従来の入院医療中心主義から通院治療、社会復帰の方向へ変貌しつつあり、また社会復帰対策については、何らの法律的な規定がないため、強力な施策の推進ができず、これら精神障害者と家族の抱えている悩みは深刻なものがあり、現行の精神衛生行政の枠の中だけでは、とうてい解決することのできない極めて緊急の課題となっている。従ってこれら精神障害者の社会生活を円滑に営むための指導、援助及び自立することの著しく困難な者に対する福祉対策は、現下焦眉の急となっている。

よって政府においては、かかる実情を賢察され、これらの施策が強力に推進できるよう「精神障害者福祉法」（仮称）を早急に制定され、精神障害者の福祉に万全を期せられるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、厚生大臣 各通

意見案第5号

(昭和59年3定  
川口常任議員ほか13人提出<総務>  
昭和59年10月22日 原案可決)

少額貯蓄非課税制度の存続に関する要望意見書

政府においては、現在、少額貯蓄非課税制度の見直しを進めているが、この制度は、長年にわたり国民に親しまれ、貯蓄心を涵養し、国民生活に不可欠なものとなっている。

今、この制度が廃止され、利子に対して一律課税されることになると、国民の貯蓄心は薄れ、日本経済に大きな混乱を招くことになる。

また、近年、日本人の高齢化が進み、国民の自助努力による老後の備えがますます重要になってきている。

特に、北海道においては、全国的にみても低い収入に対し、寒冷地特有の支出負担が大きく、乏しい可処分所得の中から営々と貯えているものであり、少額といえどもこの貯蓄利子への課税は、道民生活に大きな打撃である。

よって、政府においては、少額貯蓄非課税制度を存続されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通  
郵政大臣、総務庁長官 }

意見案第6号

(昭和59年3定  
川口常任議員ほか13人提出<総務>  
昭和59年10月22日 原案可決)

国庫補助負担率の一律引き下げ反対に関する要望意見書

政府は、昭和60年度予算において、国の財政負担を軽減するため、国庫補助負担率の一律引き下げを実施しようとしている。

国庫補助負担率の変更は、事務事業の見直し等を前提として行われるべきものであり、専ら国の財政事情により、一方的に国の財政負担を地方に肩がわりさせるような措置は、国と地方の財政秩序を乱し、相互の信頼関係を損うものである。

よって、政府におかれては、明年度の予算編成において、このような措置をとることのないよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣 } 各通  
北海道開発庁長官、総務庁長官 }

(昭和59年3定  
川口常任議員ほか13人提出<総務>  
昭和59年10月22日 原案可決)

### 人事院勧告の早期完全実施を求める要望意見書

政府は、現在、公務員給与の改定に係る人事院勧告の実施の是非について検討中であるが、この人事院勧告制度は、公務員の労働基本権制約の代償措置として制度化されたものであり、労使関係の健全な維持という観点から、また、連年にわたる給与改定の凍結、抑制により、公務員の生活が厳しい状況にあることから、政府は人事院勧告を尊重し、完全実施すべきものとする。

このことは、単に国家公務員とその家族だけでなく、地方公務員、恩給・年金受給者や生活保護世帯など国民各層の生活のみならず、中小零細企業の経営にも大きな影響を及ぼし、景気の立ち直りにつながる重要な問題である。

しかし、地方財政は、非常に厳しい状況にある。

よって、政府におかれては、人事院勧告を尊重されるとともに、これに係る財源の確保を図るなど地方財政負担の軽減措置を講じられるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通  
自治大臣、総務庁長官 }

## 請 願 ・ 陳 情

① 第3回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

### 請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
52	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	北海道大学生協同組合 理事長 安井 勉	総 務	継続審査
53	同	同	商工労働	同
54	同	同	厚 生	同
55	精神障害者福祉法制定のための国会要請を求める件	障害者の生活と権利を守る北 海道連絡協議会 代表 三浦 彌	同	同
56	太平洋海域におけるアカイカ流網漁業の実現に関する件	太平洋海域アカイカ流網漁業 実現期成会 会長 小西 久年	水 産	同
57	軍人軍属恩欠者の処遇に関する件	軍人軍属恩欠者北海道連合会 会長 前鼻 一男	厚 生	同
58	暖房料の値上げ撤回と利用者の立場に立った熱供給事業の確立に関する件	暖房料金の値上げに反対する 会 事務局長 竹腰 和夫	建 設	同

### 陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
17	少額貯蓄非課税制度の見直しに関する件	北海道地方特定郵便局長会 会長 熊谷 五郎	総 務	採 択
18	外国人登録法の改正要請方に関する件	在日外国人の指紋押捺問題を 考える会 代表世話人 加藤 潔	同	継続審査

② 継続審査中のものであって、第3回定例会において採否の決定があったもの。

### 請 願

文書表 番 号	件 名	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
42	国立病院・療養所の廃止や地方移管・民営化、現場業務の民間下請けに反対し、医療従事職員の大幅増員を求める件	厚 生	取 下 げ

③ 更に継続審査されるもの。

### 請 願

文書表 番 号	件 名	付 託 委 員 会
5	北海道を核職場にさせないための件	総 務
12	登別市に警察署設置の件	同
14	平和に関する件	同
21	個人事業税に「みなし法人課税（事業主報酬）制度」の適用に関する件	同
22	「非核・平和北海道宣言」を求める件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
25	獣医師の待遇等改善に関する件	同
46	北海道の気象事業整備拡充を求める件	同
6	老人医療に関する諸施策の拡充を求める件	厚生
9	灯油元売価格の値下げなどを求める件	同
15	老人医療と諸施策の拡充を求める件	同
16	老人医療に関する件	同
18	灯油値下げに関する件	同
29	道民負担増、大企業優遇に反対し、暮らしを守る59年度予算を求める件	同
8	灯油元売価格の値下げなどを求める件	商工労働
17	灯油値下げに関する件	同
27	建設・季節労働者の雇用安定に関する件	同
30	道民負担増、大企業優遇に反対し、暮らしを守る59年度予算を求める件	同
34	母性保護を拡充し、実効ある男女雇用平等法を制定するよう国に意見書の提出を求める件	同
39	男女雇用平等法の制定に関する件	同
40	「私たちの求める男女雇用平等法の法制化を実現するよう」国に意見書の提出を求める件	同
45	広尾町の中小企業と、季節労働者の暮らしと営業を守るために、適切な施策を求める件	同
51	対ノ貿易の振興について	同
13	本道水田等農家の抜本的負債対策を実現し、冷害対策強化に関する件	農 務
41	北海道農業の基盤確立と水田復元対策推進に関する件	同
32	道民負担増、大企業優遇に反対し、暮らしを守る59年度予算を求める件	建 設
44	広尾町の中小企業と、季節労働者の暮らしと営業を守るために適切な施策を求める件	同
47	道営住宅若竹団地3号棟に物置を求める件	同
48	水産問題に関する件	水 産
2	北海道立札幌中島体育センター別館を早期改修し弓道専用道場の併設を求める件	文教林務
3	北海道立武道館の建設を促進し専用弓道場の併設を求める件	同
7	子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	同
19	公立高校の増設等に関する件	同
23	(仮称)「雨竜地区高等養護学校」の収容定員等に関する件	同
24	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるための大幅私学助成を求める件	同
33	道民負担増、大企業優遇に反対し、暮らしを守る59年度予算を求める件	石炭対策特別
49	原子力関連施設誘致実現に関する件	エネルギー問題調査特別
50	幌延町への核廃棄物施設設置に反対する件	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
6	「大型間接税導入と申告納税制度の改正に反対し、3兆円減税を要求する意見書」決議の件	総 務
7	指名競争入札執行の自粛の件	同
2	社会福祉法人釧路まほろ学園の運営に関する件	厚 生
4	医療保険制度の改悪に反対し、住民の健康を守る決議に関する件	同
5	老人医療の無料制度を復活・拡充し、老人を医療から締め出す老人診療報酬体系等の即時撤廃を求める決議に関する件	同
9	軍人・軍属恩給欠格者の早期救済に関する件	同
11	医療保険の抜本改悪に反対し、その充実改善を求める決議に関する件	同
14	自閉症収容施設建設場所の移転に関する件	同
15	医療保険制度改定に反対する決議に関する件	同
16	アイヌ民族に関する法律制定に関する件	同
3	サラ金利用者のサラ金苦による悲劇の根絶及び住民保護に関する件	商工労働
10	一級河川十勝川水系札内川第二札内橋架橋促進に関する件	建 設
12	小樽運河を埋め立てる道道臨港線計画の見直しに関する件	同
13	小樽運河を埋め立てる道道臨港線計画の見直しに関する件	文教林務

# 委員会の動き

## 議会運営委員会

○9月18日(火) 午前10時46分、議会運営委員会室において開議、午前10時53分散会

委員長 平野 明彦(自民)

開議に先だち、委員長から、議長が9月14日から9月20日まで中国を訪問中であり、本日の委員会を欠席する旨を報告。

① 委員長から、元道議会議員齊藤正志氏(石狩支庁選出、第13期～第16期)の逝去(8月1日)及び元道議会議員浜村仙三郎氏(釧路市選出、第18期)の逝去(8月28日)について報告。

② 委員長から、水沼徳一郎議員(自民、根室支庁選出)の逝去(7月31日)及び坂下堯議員(無所属、宗谷支庁選出)の逝去(8月21日)について報告。故水沼徳一郎氏は従六位勲五等瑞宝章、故坂下堯氏は従五位勲四等旭日小綬章をそれぞれ受章されたことを併せて報告。

③ 9月9日執行の根室支庁所管区域補欠選挙で村田雄平氏が当選したことを報告。補欠議員の紹介については本会議において行う例となっていることを報告。

④ 宗谷支庁所管区域補欠選挙は9月28日告示、10月7日投票の日程で執行される旨を報告。

⑤ 会派異動届の提出について、自民党議員会長から9月14日付けをもって村田雄平議員が入会し、所属議員数が59人となった旨届出があったことを報告。

なお、各派所属議員数は自民59人、社会33人、道政8人、公明6人、共産1人、欠員3人となることを報告。

⑥ 補欠議員の議席の指定及び会派所属議員数の異動に伴う議席の一部変更について、配付の議席表のとおりとすることを異議なく決定。本件については、3定招集日の本会議に

おいて議決することとなるが、議員の出退表示器については、この決定に基づき予め整理することをはかり了承。

⑦ 補欠議員の常任委員選任について、次回委員会において協議することを了承。

⑧ 第3回定例会の招集期日を9月26日とすることを異議なく了承。会期は24日間とすることに決定。

⑨ 総務部長から、第3回定例会提出案件について説明。

⑩ 第3回定例会の日程について、次のとおり取り進めることに決定。

### ▽ 第3回定例会日程

9月26日 本会議(提案説明)

27日～10月1日 休会

10月2日・3日 本会議(代表質問)

4日・5日 本会議(一般質問)

6日・7日 休会

8日・9日 本会議(一般質問)

10日 休会

11日 本会議(一般質問、予算特別委員会設置)

12日～18日 休会

19日 本会議

⑪ 代表質問について、順位は、自民、社会、道政、公明とすることを了承。各会派発言時間の使用状況について説明。

⑫ 企業会計決算特別委員会において前会より継続審査中の報告第60号ないし第66号について、審査を終了した旨報告。本件については、3定招集日の本会議において委員長報告を行い議決する扱いとすることに決定。

⑬ 追悼演説について、同一選挙区又は隣接選挙区の他党派所属議員が行う例であり、水沼議員に対しては社会、坂下議員に対しては自民が行うこと及び第3回定例会冒頭に行うことを了承。

○9月25日(火) 午後1時13分、議会運営委員会室において開議、午後1時18分散会

委員長 平野 明彦(自民)

① 補欠議員村田雄平氏(自民)を農務委員に

指名選任することをはかり決定。

- ② 追悼演説について、水沼徳一郎議員(自民)に対しては岩崎守男議員(社会)が、坂下堯議員(無所属)に対しては青山正男議員(自民)が明日の本会議の冒頭でそれぞれ追悼演説することを了承。
- ③ 総務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ④ 道監査委員の選任につき同意を求める件の追加提出議案については、了承することとし、10月2日の本会議において議決する扱いとすることを決定。
- ⑤ 代表質問の通告について、9月29日正午までに提出することを決定。
- ⑥ 一般質問について、順位は従来例により取り進めることを決定。通告については10月2日正午まで提出することを決定。
- ⑦ 農務委員会において発議予定の要望意見案が提出された場合には、明日の本会議において議決する扱いとすることを了承。
- ⑧ 議案調査のため、9月27日から10月1日まで休会し、10月2日再開することをはかり決定。
- ⑨ 総務部長から、永澤副知事が中曽根首相来道出迎えのため明日の本会議を欠席する旨発言の後、了承。
- ⑩ 9月26日の本会議の議事順序については、明日協議することを了承。

○9月26日(水) 午前9時44分、議会運営委員会室において開議、午前9時48分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 意見案第1号について、本日の本会議において議決する扱いとすることを決定。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることを決定。

▽ 議事順序

(開会)

補欠当選議員の紹介

日程第1 議席の一部変更並びに補欠議員の議席指定の件

日程第2 会議録署名議員の指定  
諸般の報告

元議員の逝去報告

議員水沼徳一郎君及び坂下堯君の逝去の報告

議員水沼徳一郎君の逝去に対する岩崎守男議員の追悼演説

議員坂下堯君の逝去に対する青山正男議員の追悼演説

議員水沼徳一郎君及び坂下堯君の逝去に対する黙祷

一休 憩一

日程第3 会期決定の件(9月26日から10月19日まで24日間)

日程第4 補欠議員の常任委員選任の件  
村田雄平君を農務委員に選任することについて簡易採決

日程第5 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号

日程第6 提出議案に関する知事の説明  
前会より継続審査の報告第60号ないし第66号

吉田英治企業会計決算特別委員長の報告

(討論)

- 1. 大橋議員の報告第63号ないし第65号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

- 1. 報告第63号ないし第65号を問題とし、委員長報告(報告第63号及び第65号は意見を付し認定議決、報告第64号は認定議決)のとおり決することについて起立により採決

(共産党反対)

- 2. 報告第60号ないし第62号及び第66号を問題とし、委員長報告(報告第60号ないし第62号は意見を付し認定議決、報告第66号は認定議決)のとおり決することについて簡易採決

日程第7 意見案第1号

意見案第1号 昭和59年産畑作物価格等に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決  
議案調査のための休会日の決定  
(9月27日から10月1日まで)

○10月2日(火) 午前9時39分、議会運営委員会室において開議、午後4時4分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 総務部長から、追加提出案件(1件)について説明の後、本日の本会議において知事の提案説明後、議決する扱いとすることをはかり決定。
- ② 代表質問の通告(4人)について報告。
- ③ 本日の本会議について、代表質問4人となるが、本日2人、明日2人行うことをはかり決定。
- ④ 予算特別委員会について、配布の協議事項記載のとおりとすることに決定。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次のとおり取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第21号

追加提出議案に関する知事の説明

(委員会付託省略)

(採決)

1. 本件を原案のとおり同意することについて簡易採決

(議案第21号 北海道監査委員の選任につき同意を求める件)

日程第2 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号

質疑並びに一般質問(代表質問2人)

午後9時41分休憩、午後4時2分再開。

- ⑥ 本会議における高橋康之議員(自民)の議事進行発言の取り扱いについて、委員長から、現在速記録反訳中であり、なお時間を要する旨の説明があり、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することに決定。

○10月3日(水) 午前9時35分、議会運営委員

会室において開議、午後4時13分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 昨日の本会議における高橋康之議員(自民)の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、議事録精査中であり、なお時間を要する旨発言の後、午前9時37分休憩、午後4時10分再開。
- ② 総務部長から、昨日の本会議における青山章議員(自民)の再質問に対する答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は青山議員の再質問に対する知事及び教育長の補足答弁から入ることをはかり了承。
- ③ 本日の本会議について、代表質問1人、明日3人行うことを了承。
- ④ 一般質問の進め方等について、明日協議することを了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号

質疑並びに一般質問(代表質問1人、継続)

○10月4日(木) 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午前9時41分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 代表質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、代表質問3人行うことを了承。
- ③ 一般質問の通告(21人)について報告、順位は、従前の例により取り進めることとし、通告の変更について了承。個人別順位について、議事課長説明のとおりとすることに決定。進め方については、5日6人、8日3人、9日6人、11日6人の予定とすることに決定。
- ④ 委員長から、農務委員長及び三沢農務委員が中央折衝のため4日・5日の2日間並びに水産委員長が第4回全国豊かな海づくり大会

に出席のため5日にそれぞれ本会議を欠席する旨報告の後、了承。

- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号  
質疑並びに一般質問(代表質問3人)

○10月5日(金) 午前10時5分、議会運営委員会室において開議、午後4時26分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 木本由孝委員(自民)から、北教組による教育長の辞任要求の座り込み等に関し、自民党としての考え方等発言の後、関連して各委員から発言があり、午前10時15分休憩、午後1時25分再開。
- ② 木本委員から、一般質問の通告内容等を変更し、緊急質問を行いたい旨発言、輪島幸雄委員(社会)から関連して発言の後、一般質問の順位及び通告内容等の変更について、申し出のとおり了承することを決定。その他の一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ③ 議案調査のため10月6日は休会し、10月8日再開することをはかり決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号  
質疑並びに一般質問(一般質問6人)

午後1時29分休憩、午後4時24分再開。

- ⑤ 総務部長から、本会議における吉川貴盛議員(自民)の質問について、議事録の精査等に時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することをはかり決定。
- ⑥ 輪島幸雄委員(社会)から、吉川議員の本会議での質問に関し発言の後、一般質問であ

ることを確認。

○10月8日(月) 午後1時8分、議会運営委員会室において開議、午後3時9分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 10月5日の本会議における木本由孝議員(自民)の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、吉川貴盛議員(自民)の質問に対する答弁に関し、なお時間を要する旨発言の後、午後1時9分休憩、午後3時6分再開。
- ② 総務部長から、なお時間を要する旨発言の後、本日の本会議は日程を延期し延会することをはかり決定。
- ③ 総務部長から、永澤副知事が中央要請のため明日の本会議を欠席する旨発言の後、了承。

○10月9日(火) 午前9時46分、議会運営委員会室において開議、午後2時17分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 10月5日の本会議における木本由孝議員(自民)の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、なお時間を要する旨発言の後、午前9時47分休憩、午後2時16分再開。
- ② 総務部長から、なお時間を要する旨発言があり、本日の本会議は、日程を延期し延会することをはかり決定。

○10月11日(木) 午前9時39分、議会運営委員会室において開議、午後5時28分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 10月5日の本会議における木本由孝議員(自民)の議事進行発言について、総務部長から、なお時間を要する旨発言の後、午前9時40分休憩、午後4時34分再開。
- ② 総務部長から、なお時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、取りあえず会議時間を延長することをはかり決定。午後4時35分休憩、午後5時25分再開。
- ③ 総務部長から、10月5日の吉川貴盛議員(自民)の質問に対し、議事録精査の結果、

知事から補足答弁を行いたい旨発言があり、本日の本会議は、吉川議員の質問に対する知事の補足答弁から入ることを決定。

- ④ 一般質問の 通告内容等 の 変更 について了承。
- ⑤ 日程上本日までとなっている一般質問の今後の進め方について、明日も引き続き本会議を開き一般質問を行うこととし、本日1人（継続）、明日6人の予定で行うこと、その後の進め方については、明日協議することを決定。
- ⑥ 委員長から、正副農務委員長が中央折衝のため11日・12日の2日間、文教林務委員長が12日奈良県で開催の国民体育大会開会式に出席することを報告。
- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号  
質疑並びに一般質問（一般質問1人継続）

○10月12日（金） 午後零時5分、議会運営委員会室において開議、午後4時10分散会  
委員長 平野 明彦（自民）

- ① 委員長から、10月7日執行の宗谷支庁所管区域補欠選挙に湯佐利夫氏が当選した旨報告。
- ② 会派異動届けの提出について、10月12日付をもって自民党議員会長から湯佐利夫議員が入会し、所属議員数が60人となった旨届出があったことを報告。  
なお、各派所属議員数は自民60人、社会33人、道政8人、公明6人、共産1人、欠員2人となることを報告。
- ③ 会派所属議員数の異動に伴う議席の一部変更及び補欠議員の議席の指定について、配付の議席表のとおりとすることを異議なく決定。
- ④ 補欠議員湯佐利夫氏（自民）を農地開発委員に指名選任することをはかり決定。

- ⑤ 一般質問の 通告内容等 の 変更 について了承。
- ⑥ 本日の本会議について、一般質問4人行うことをはかり決定。
- ⑦ 一般質問の明日以降の進め方について、本日の本会議休憩中に協議することを了承。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

補欠当選議員の紹介

日程第1 議席の一部変更並びに補欠議員の議席指定の件  
日程第2 補欠議員の常任委員選任の件  
湯佐利夫君を農地開発委員に選任することについて簡易採決  
日程第3 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号  
質疑並びに一般質問（一般質問6人）

午後零時8分休憩、午後4時7分再開。

- ⑨ 総務部長から、高木繁光議員（自民）の再質問に対する答弁準備が出来た旨発言があり、本日の本会議は高木議員の再質問に対する知事の答弁から入ることを決定。
- ⑩ 一般質問の 通告内容等 の 変更 について了承。
- ⑪ 再開後の本会議について、今後一般質問2人（1人継続）行うことを了承。
- ⑫ 議案調査のため、13日は休会し、15日再開することに決定。
- ⑬ 一般質問の進め方について、15日5人、16日6人行うことをはかり決定。
- ⑭ 再開後の本会議について、一般質問2人（1人継続）を行った後、調案調査のため10月13日の休会を決定し延会することをはかり了承。

○10月15日（月） 午前10時7分、議会運営委員会室において開議、午後4時20分散会  
委員長 平野 明彦（自民）

- ① 一般質問の 通告内容等 の 変更 について了承。

承。

- ② 本日の本会議について、一般質問5人行うことを了承。
- ③ 委員長から、建設委員長は15・16日の2日間上京し全国道路利用者会議に出席、文教林務副委員長は15日岩手県で開催の第8回全国育樹祭に出席すること及び北方領土対策特別委員長は16日から19日まで参議院外務委員会の北方領土視察等に同行することを報告。
- ④ 総務部長から、永澤副知事が叙勲伝達のため明日の本会議を欠席する旨発言の後、了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号  
質疑並びに一般質問(一般質問5人)

午前10時10分休憩、午後4時20分再開。

- ⑥ 一般質問の順位の変更について了承。
- ⑦ 本日の本会議について、一般質問1人とするをはかり決定。

○10月16日(火) 午前9時45分、議会運営委員会室において開議、午後4時16分散会  
委員長 平野 明彦(自民)

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、一般質問5人とすることを決定。
- ③ 予算特別委員会について、会派別分科委員数については、各会派間の調整の結果、配付のとおり決定した旨報告。委員の選任について各会派から提出された名簿のとおり選任することをはかり決定。設置動議は中川隆之議員(道政)が提出することを了承。
- ④ 本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号

質疑並びに一般質問(一般質問5人)

(質疑終結宣告)

- 予算特別委員会設置
- 予算特別委員の選任
- 議案の各委員会付託

各委員会付託議案審査のため休会の決定  
(10月17日から10月18日まで)

午前9時49分休憩、午後4時15分再開。

- ⑤ 酒井芳秀議員(自民)の再質問に対する教育長の答弁準備の状況について、総務部長から、なお時間を要する旨発言の後、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することとし、明日も引き続き本会議を開き、一般質問を行うことをはかり決定。

○10月17日(水) 午前9時41分、議会運営委員会室において開議、午前11時48分散会  
委員長 平野 明彦(自民)

- ① 酒井芳秀議員(自民)の再質問に対する教育長の答弁準備の状況について、総務部長からなお時間を要する旨発言の後、午前9時42分休憩、午前11時46分再開。
- ② 総務部長から、答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は酒井議員の再質問に対する教育長の答弁から入ることをはかり決定。
- ③ 一般質問の通告内容等の変更について確認。
- ④ 本日の本会議について、一般質問3人行うことを決定。予算特別委員会の設置及び委員の選任並びに議案の各委員会付託について、昨日の委員会で決定したとおり取り進めることを決定。
- ⑤ 各委員会付託議案審査のため、10月18日は休会し、10月19日再開することを決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号  
質疑並びに一般質問(一般質問3人)

(質疑終結宣告)

○予算特別委員会設置

○予算特別委員の選任

○議案の各委員会付託

各委員会付託議案審査のため休会の決定

(10月18日)

○10月19日(金) 午後2時13分、議会運営委員会室において開議、午後2時18分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 予算特別委員長から、予算特別委員会における審議状況について報告。
- ② 委員長から各委員会付託議案の審議状況について報告。
- ③ 今期定例会の会期延長について、各委員が意見交換の後、会期を10月22日まで3日間延長することをはかり決定。
- ④ 各委員会付託議案審査のため、10月20日は休会し、10月22日再開することをはかり決定。
- ⑤ 本日の本会議は、10月22日まで3日間の会期延長を議決し、10月20日の休会を決定した後散会することをはかり決定。

○10月22日(月) 午後3時31分、議会運営委員会室において開議、午後3時35分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 委員長から、元道議会議員中西秀利氏(土別市選出、第16期、第17期)の逝去(10月17日)について報告。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、すべて議了した旨報告。
- ③ 総務部長から、追加提出議案について説明の後、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。
- ④ 意見案第2号ないし第7号の提出があった旨報告。いずれも本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。
- ⑤ 各関係委員長から審査結果報告のあった陳情について、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取

り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

元議員の逝去報告

日程第1 議案第1号ないし第20号、報告第1号及び第2号

予算特別、農務、総務、厚生、水産、建設、文教林務各委員長の報告

(討論)

1. 大橋議員の議案第1号、第12号及び第14号ないし第18号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1. 議案第1号、第12号及び第14号ないし第18号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて起立により採決  
(共産反対)
2. 議案第2号ないし第11号、第13号、第19号、第20号、報告第1号及び第2号を問題とし、委員長報告(議案はすべて可決、報告はすべて承認議決)のとおり決することについて簡易採決

日程第2 議案第22号及び第23号

追加提出議案に関する知事の説明

(委員会付託省略)

(採決)

1. 議案第22号を問題とし、本件を原案のとおり同意することについて起立により採決

(共産反対)

(議案第22号 北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件)

2. 議案第23号を問題とし、本件を原案のとおり同意することについて簡易採決

議案第23号 北海道収用委員会委員及び北海道収用委員会予備委員の選任につき同意を求める件

日程第3 意見案第2号ないし第7号

意見案第2号 泰東丸の実地調

査と遺骨収集に関する要望意見書

意見案第3号 軍人・軍属恩給  
欠格者の処遇に関する要望意見書

意見案第4号 精神障害者福祉  
法（仮称）の制定に関する要望意見書

意見案第5号 少額貯蓄非課税  
制度の存続に関する要望意見書

意見案第6号 国庫補助負担率  
の一律引き下げ反対に関する  
要望意見書

意見案第7号 人事院勧告の早  
期完全実施を求める要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（採決）

1. 本件をいずれも原案のとおり決することについて簡易採決

日程第4 陳情審査の件（採択1件）

（委員長報告省略）

（採決）

1. 本件を陳情審査報告書（採択）のとおり決することについて簡易採決

○閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長並びに関係特別委員長から申し出のとおり閉会中継続審査または調査に付することについて簡易採決

○議長の閉会あいさつ

○閉会宣告

## 常任委員会

### 総務委員会

○8月7日（火） 午後2時20分、第5委員会室  
において開議、午後2時30分  
散会  
委員長 川口 常人（自民）

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した道外調査及び中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、道内における行財政調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期は、9月3日から3日間とし、派遣委員については、委員長に一任することとした。
- ③ 岩本允委員（自民）から、航空機の北海道における役割、利用状況、道内航空路線と本州の路線との運賃格差などについて質疑及び要望があり、開発調整部長から答弁。

○9月3日（月） 午後1時24分、第5委員会室  
において開議、午後1時40分  
散会  
委員長 川口 常人（自民）

#### 一般議事

- ① 総務部長から、根室支庁所管区域選出の道議会議員の死去に伴う補欠選挙の執行経費の専決処分について報告。
- ② 警察本部長から、交通指導取締中の警察官の殉職について報告。
- ③ 柏倉勝雄委員（社会）から、釧路湿原における遊覧船の運行状況及びこれに対する道の対応について質疑があり、生活環境部長から答弁。

○9月25日（火） 午前10時34分、第5委員会室  
において開議、午前10時45分  
散会  
委員長 川口 常人（自民）

#### 一般議事

- ① 総務部長から、宗谷支庁所管区域選出の道議会議員の死去に伴う、補欠選挙執行経費の専決処分について報告。
- ② 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及び警察本部総務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

○10月22日（月） 午後1時51分、第5委員会室  
において開議、午後2時3分  
散会  
委員長 川口 常人（自民）

#### 付託案件の審査

- 議案第8号（農村地域の工業導入地区における事業税等の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案）及び議案第13号（北海道警察組織条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、総務部長及び警察本部警務部長からそれぞれ説明の後、いずれも異議なく原案のとおり可決することに決定。

#### 請願・陳情の審査

##### 陳情

第17号 少額貯蓄非課税制度の見直しに関する件（採択）

残余の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

##### 一般議事

- ① 委員長から、少額貯蓄非課税制度の存続に関する要望意見案、国庫補助負担率の一律引き下げ反対に関する要望意見案及び人事院勧告の早期完全実施を求める要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 人事委員会事務局長から、昭和59年職員の給与に関する報告及び給与改定に関する勧告の概要について説明。

○10月23日（火） 午前10時24分、第5委員会室  
において開議、午前10時27分  
散会  
委員長 川口 常人（自民）

##### 一般議事

- 委員長から、他府県における行財政等事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期は、10月31日から4日間とし、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

#### 厚生委員会

○8月7日（火） 午後1時14分、第9委員会室  
において開議、午後1時19分  
散会  
委員長 星野 健三（社会）

##### 一般議事

- ① 民生部長から、さきに実施した昭和59年度サハリン州地域墓参の概要について報告。
- ② 衛生部長から、公衆浴場入浴料金統制額の改定について説明。

○9月4日（火） 午後1時26分、第9委員会室  
において開議、午後2時散会  
委員長 星野 健三（社会）

##### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した国立病院・療養所の存続等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、さきに実施した樺太引揚船「泰東丸」の遺骨収集に関する現地調査及び追悼式参列について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 大橋晃委員（共産）から、保育所をめぐる問題に関し、道内の保育所の種類・措置児童数、要保育児童の要件と対象数、認可保育所の定員割れの現状と原因、定員割れの現状調査と総合対策、無認可保育所の実情と道としての基本的な考え方、無認可保育所と認可保育所の関連、無認可保育所の運営等に対する助成

（関連して、伊藤豪委員（自民）から、今後の本道における保育行政について）  
質疑及び要望があり、民生部長から答弁。

○9月25日（火） 午前10時38分、第9委員会室

において開議、午前10時56分  
散会  
委員長 星野 健三（社会）

#### 一般議事

- ① 民生部長及び衛生部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 大橋晃委員（共産）から、国の60年度概算要求に関し、各種補助金のカットに対する事業毎の影響額及び道の取り組み方について質疑及び要望があり、民生部長及び衛生部長から答弁。

○10月22日（月） 午後1時43分、第9委員会室  
において開議、午後1時50分  
散会  
委員長 星野 健三（社会）

#### 付託案件の審査

- 議案第9号（北海道ウタリ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例案）及び議案第10号（北海道身体障害者更生援護施設設置条例及び北海道身体障害者総合更生援護施設条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、民生部長から説明後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

#### 一般議事

- ① 委員長から、本委員会に付託されていた請願第42号（国立病院・療養所の廃止や地方移管・民営化、現場業務の民間下請に反対し、医療従事職員の大幅増員を求める件）については、付託が取り下げられた旨報告。
- ② 残余の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、泰東丸の实地調査と遺骨収集、軍人・軍属恩給欠格者の処遇及び精神障害者福祉法（仮称）の制定に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。

○10月23日（火） 午前10時20分、第9委員会室  
において開議、午前10時25分

散会  
委員長 星野 健三（社会）

#### 一般議事

- ① 委員長から、道外の厚生事情調査の実施及び北霊碑慰霊祭への参列についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、泰東丸の实地調査と遺骨収集、軍人・軍属恩給欠格者の処遇及び精神障害者福祉法（仮称）の制定に関する中央折衝についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

#### 商工労働委員会

○8月7日（火） 午後1時45分、第8委員会室  
において開議、午後2時10分  
散会  
委員長 湯本 芳志（社会）

#### 一般議事

- ① 商工観光部長から、主要工業製品需給実態調査に関し報告、異議なく了承。
- ② 労働部長から、雇用保険法の改正に関し報告、異議なく了承。
- ③ 久田恭弘委員（自民）から、過去3箇年の季節別観光客の入り込み状況と航空機利用の状況、航空運賃団体割引制度について質疑及び要望があり、商工観光部長から答弁。

○9月4日（火） 午後1時30分、第8委員会室  
において開議、午後2時4分  
散会  
委員長 湯本 芳志（社会）

#### 一般議事

- ① 商工観光部長から、苫東会社職員と民間企業等職員との給与水準の比較について報告の後、  
石川十四夫委員（道政）から、平均給与月額、苫東会社の合理化計画、苫東基地への企業誘致促進の決意などについて  
質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。

- ② 労働部長から、雨竜町職業訓練協会に係る補助金不正受給事件に関し、経過及び道の措置並びに今後の対応策について報告の後、

久田恭弘委員（自民）から、職業訓練校に対する道の監査機構について

（関連して佐々木利昭委員（自民）から、支庁の監査実態について）

質疑があり、労働部長から答弁。

- ③ 久田恭弘委員（自民）から、石狩湾新港地域計画に係る小樽港と石狩湾新港との機能分担、海岸道路の取扱い、石狩湾新港地域の振興方策などについて

質疑があり、商工観光部長から答弁。

○9月25日（火） 午前10時28分、第8委員会室において開議、午前10時35分散会

委員長 湯本 芳志（社会）

#### 一般議事

- ① 商工観光部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 労働部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 石川十四夫委員（道政）から、産炭地サミットの早期開催について要望があり、商工観光部長から答弁。

○10月22日（月） 午後1時40分、第8委員会室において開議、午後1時50分散会

委員長 湯本 芳志（社会）

#### 一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月23日（火） 午前10時15分、第8委員会室において開議、午前10時30分散会

委員長 湯本 芳志（社会）

#### 一般議事

- 労働部長から、身体障害者及び高齢者の雇

用状況について報告。

## 農務委員会

○8月7日（火） 午後1時13分、第7委員会室において開議、午後1時39分散会

委員長 寺崎 政朝（自民）

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和59年産生産者米価等に関する中央折衝及び昭和60年度農業関係国費予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 農務部長から、農作物の生育状況について説明の後、

青山章委員（自民）から、てん菜に関し、道内の作付面積、収穫量の増加に伴う処理体制

吉野之雄委員（社会）から、いもち病対策に関し、いもち病発生の子察と農家への指導状況等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

- ③ 農務部長から、昭和59年産米穀の政府買入れ価格に関して説明の後、

青山章委員（自民）から、キタヒキリに関し、昨年及び本年の作付状況、四類昇格の申請に伴う地域指定の経緯、今後の指導のあり方等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

○9月4日（火） 午後1時19分、第7委員会室において開議、午後3時17分散会

委員長 寺崎 政朝（自民）

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内農業事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 委員長から、道外における農業事情調査の実施についてははかり、異議なく決定。

- ③ 農務部長から、農作物の生育状況及び雨不足による飼料作物への影響等に関して説明の後、

青山章委員（自民）から、8月15日現在の牧草の生育状況の報告内容に対する疑義、今後の適確な報告方

大島一郎委員（社会）から、雨不足による飼料作物被害に対する今後の対策、天災融資法等の適用の可能性

大野新生委員（道政）から、干害を受けた農家に対する十分な対処方等について質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

④ 農務部長から、昭和60年度農業関係国費予算要求主要事項について説明。

⑤ 農務部長から、昭和59年度水田利用再編実施計画に関して説明の後、

青山章委員（自民）から、他用途利用米の主食用への買い上げに伴う対処策、道の適切な指導の必要性

吉野之雄委員（社会）から、自家保有米の量に対する認識、他用途利用米の主食用への買い上げ後の措置と行政の対応

大野新生委員（道政）から、他用途利用米の主食用への買い上げに伴う価格面での矛盾に対する見解等について質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

⑥ 三沢道男委員（社会）から、(1)乳用牛改良推進事業に関し、本事業の実施にあたって関係者の意見の把握状況、後代検定事業の実施方法等について再検討する必要性、(2)道職員の再就職に関する取扱要綱に関し、要綱で対象としている団体の範囲、要綱の対象外の団体に再就職する場合の取り扱いと適切な運用方等について質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

#### 本日聴取した陳情

昭和59年網走管内干害対策について  
北見地区農民連盟副委員長

○9月25日（火） 午前11時24分、第7委員会室  
において開議、午前11時57分  
散会

委員長 寺崎 政朝（自民）

#### 一般議事

① 委員長から、さきを実施した道外農業事情

調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 委員長から、昭和59年産畑作物価格等に関する要望意見案の発議についてはかり、異議なく決定。

③ 委員長から、昭和59年産畑作物価格等に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

④ 農務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

⑤ 農務部長から、第27回甘味資源審議会の答申について説明。

⑥ 三沢道男委員（社会）から、土づくりに関し、家畜のふん尿による環境汚染防止に対する指導状況、堆肥の完熟を促進するための菌に対する助成の考え、ふん尿の有効利用に係る技術開発、土づくりに対する積極的な取り組み方等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○10月22日（月） 午後1時48分、第7委員会室  
において開議、午後1時55分  
散会

委員長 寺崎 政朝（自民）

#### 付託案件の審査

○ 議案第7号（北海道畜産振興資金貸付事業特別会計条例案）及び議案第11号（北海道改良普及員資格試験条例の一部を改正する条例案）を一括議題とし、農務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決と決定。付託案件に対する委員長報告については委員長に一任することとした。

#### 一般議事

① 委員長から、9月26日の本会議において村田雄平委員（自民）が本委員会の委員に選任されたことに伴う議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。

② 委員長から、付託の請願について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることはかり、異議なく決定。

○10月23日（火） 午前10時4分、第7委員会室  
において開議、午前10時21分  
散会  
委員長 寺崎 政朝（自民）

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和59年産畑作物価格等に関する中央折衝及び水田利用再編第3期対策に関する中央折衝の概要について、報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農務部長から、昭和59年産畑作物価格等に関して説明。
- ③ 農務部長から、昭和59年7・8月の干ばつ被害に関して説明の後、  
青山章委員（自民）から、天災融資法の適用についての見通し、被害額30%～50%及び50%以上の農家の被害面積と被害額、道が対策を講ずるための十分な被害状況の把握の必要性  
村田雄平委員（自民）から、干ばつによる牛乳生産への影響等について  
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。
- ④ 委員長から、水田利用再編第3期対策に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

#### 建設委員会

○8月7日（火） 午後1時41分、第4委員会室  
において開議、午後2時7分  
散会  
委員長 古川 靖晃（自民）

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道外における建設事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、さきに実施した道路整備特定財源の確保等に関する要望及び昭和60年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 委員長から、道内における建設事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時

期等については、委員長に一任することとした。

- ④ 土木部長から、釧路湿原内における観光船の運航問題及び大洗・苫小牧フェリー航路開設に伴う苫小牧港のソフトバースの取扱いについて報告の後、

岩崎守男委員（社会）から、湿原を国立公園にしていく場合の保護のあり方及び河川区域内の沈木の引揚げ、立木の伐採の禁止

樫林巖委員（社会）から、苫小牧港における第3バースの計画が表明されるまでの道の対応、道と苫小牧港管理組合との間で確認書を取り交わした目的、経緯、海運局からの道に対する照会の有無及び同管理組合が回答書を作成するに当たっての道への協議の有無、苫小牧港管理組合との意思の疎通について  
質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。

（関連して笹浪幸男委員（自民）から、苫小牧港ソフトバースに関し発言。）

○9月4日（火） 午後1時31分、第4委員会室  
において開議、午後1時37分  
散会  
委員長 古川 靖晃（自民）

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内における建設事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 土木部長から、道道静内・中札内線の建設工事に係る経緯と計画の概要について報告。

○9月25日（火） 午前10時30分、第4委員会室  
において開議、午前10時37分  
散会  
委員長 古川 靖晃（自民）

#### 一般議事

- 土木部長及び住宅都市部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

○10月22日（月） 午後2時11分、第4委員会室  
において開議、午後2時18分  
散会  
委員長 古川 靖晃（自民）

## 付託案件の審査

- ① 議案第14号（空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第15号（流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第19号及び第20号（いづれも工事請負契約の締結に関する件）を一括議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

## 一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月23日（火） 午前10時12分、第4委員会室において開議、午前10時15分散会  
委員長 古川 靖晃（自民）

## 一般議事

- 委員長から、さきに実施した道内における建設事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

## 農地開発委員会

○8月7日（火） 午後1時21分、第3委員会室において開議、午後1時33分散会  
委員長 中川 隆之（道政）

## 一般議事

- ① 農地開発部長から、昭和59年度農地開発部所管道営工事第1・四半期の発注状況について説明の後、  
吉田英治委員（社会）から、工事発注の遅れと今後の見通し、等級別発注実績及び下位

ランク業者の受注確保、過去の第1・四半期の発注実績に係る資料の提出方等について質疑、意見及び要求があり、農地開発部長から答弁。

- ② 委員長から、道内における農業基盤整備事業調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

○9月4日（火） 午後1時20分、第3委員会室において開議、午後1時36分散会  
委員長 中川 隆之（道政）

## 一般議事

- ① 農地開発部長から、昭和60年度北海道開発予算農業基盤整備関係概算要求について説明。
- ② 農地開発部長から、「昭和60年代北海道農業基盤整備事業推進の基本方向」について説明。
- ③ 委員長から、さきに実施した昭和60年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○9月25日（火） 午前10時20分、第3委員会室において開議、午前10時28分散会  
委員長 中川 隆之（道政）

## 一般議事

- ① 農地開発部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した道内農業基盤整備事業の事情調査の経過概要について報告書により報告、異議なく了承。

○10月22日（月） 午後1時37分、第3委員会室において開議、午後1時40分散会  
委員長 中川 隆之（道政）

- 開議に先立ち、委員長から、10月12日の本会議において本委員会の委員に選任された湯佐利夫委員（自民）を紹介。

## 一般議事

- ① 委員長から、湯佐利夫議員（自民）の委員選任に伴う議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月23日（火） 午前10時12分、第3委員会室において開議、午前10時17分散会  
委員長 中川 隆之（道政）

**一般議事**

- ① 農地開発部長から、昭和59年度農地開発部所管の道営工事の上半期における発注実績について報告。
- ② 委員長から、道外における農業基盤整備事業等の事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

**水産委員会**

○8月7日（火） 午後1時21分、第6委員会室において開議、午後1時35分散会  
委員長 中崎 昭一（自民）

**一般議事**

- ① 委員長から、さきに実施した昭和60年度水産関係国費予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、道内水産事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

○9月4日（火） 午後1時23分、第6委員会室において開議、午後1時31分散会  
委員長 中崎 昭一（自民）

**一般議事**

- ① 水産部長から、昭和59年の秋さけ沿岸来遊予報と親魚捕獲・採卵及び放流計画について説明。
- ② 委員長から、道外水産事情調査の実施につ

いてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

○9月25日（火） 午前10時41分、第6委員会室において開議、午前10時59分散会  
委員長 中崎 昭一（自民）

**一般議事**

- ① 水産部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 水産部長から、噴火湾におけるほたて貝毒の基準値見直しについて報告。

○10月22日（月） 午後2時1分、第6委員会室において開議、午後2時6分散会  
委員長 中崎 昭一（自民）

**付託案件の審査**

- ① 議案第12号（北海道漁港管理条例の一部を改正する条例案）を議題とし、水産部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第16号（沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）及び第17号（漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を一括議題とし、水産部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

**一般議事**

- 委員長から、付託の請願について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月23日（火） 午前10時32分、第6委員会室において開議、午前10時45分散会  
委員長 中崎 昭一（自民）

**一般議事**

- ① 委員長から、さきに実施した道内水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、道外水産事情調査の実施につ

いてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

- ③ 酒井芳秀委員（自民）から、本年2月から3月にかけて発生した流水被害に関し、本年のコンブの収穫予想及び例年の収穫量との比較、被害を受けた漁業者に対する資金対策の状況等について  
質疑があり、水産部長から答弁。

## 文教林務委員会

- 8月7日（火） 午後3時55分、第10委員会室  
において開議、午後4時12分  
散会  
委員長 岩田 徳弥（自民）

### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和60年度北海道開発予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。  
② 木戸浦隆一委員（自民）から、函館稜北高等学校の通学対策に関し、通学路の道路整備、通学バスの路線延長問題について  
質疑及び要望があり、教育長から答弁。

- 9月4日（火） 午後2時11分、第10委員会室  
において開議、午後2時56分  
散会  
委員長 岩田 徳弥（自民）

### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内における文教林務事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。  
② 林務部長から、昭和60年度林業関係開発予算について説明。  
③ 林務部長から、第11回全国育樹祭開催に関して報告。  
④ 委員長から、7月26日の委員会における保格博夫委員（社会）及び中川義雄委員（自民）の要望に関し発言。  
⑤ 西尾六七委員（自民）から、(1)道立旭川美術館の運営に関し、祝祭日の開館、館長の人材配置、(2)林産試験場の木材の飼料化の研究に関し、その目的

木戸浦隆一委員（自民）から、(1)函館稜北高等学校の通学対策に関し、その後の経過、(2)庁舎管理に関し、庁舎に張られているビラの実態把握、ビラを撤去できなかった理由、今後の対処に対する決意について  
質疑、意見及び要望があり、教育長及び林務部長から答弁。

- 9月25日（火） 午前11時5分、第10委員会室  
において開議、午前11時35分  
散会  
委員長 岩田 徳弥（自民）

### 一般議事

- ① 教育長、林務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。  
② 委員長から、7月26日の委員会における中川義雄委員（自民）の要望に関し、理事会の協議結果について発言。  
③ 木戸浦隆一委員（自民）から、道立函館美術館の建設に関し、準備作業の進行状況、函館総合文化センター構想との調整、寄託、寄贈作品の特別展示室設置、設計委託への地元業者の参加について配慮方、開館の時期について質疑及び要望があり教育長から答弁。

- 10月22日（月） 午後1時51分、第10委員会室  
において開議、午後1時57分  
散会  
委員長 岩田 徳弥（自民）

### 付託案件の審査

- 議案第18号（林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、林務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

### 一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

- 10月23日（火） 午前10時15分、第10委員会室  
において開議、午前11時26分

散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

## 一般議事

- ① 委員長から、道外における文教林務事情調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 中川義雄委員（自民）から、学校基本調査における児童生徒数の水増し報告問題に関し、報告の内容、調査の目的、調査の方法、調査結果の取扱い、調査過程での道教委の役割、調査のチェックのあり方、虚偽報告に対する罰則、道教委の責任、水増し報告の具体例、虚偽報告を作った学校名、実態調査の方法、虚偽報告の要因、教育界のモラル、地方財政に与える影響、再発防止に対する教育長の決意等について  
（関連して、高木繁光委員（自民）から虚偽報告に対する罰則及び責任者に対する処分問題について）  
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。
- ③ 中川義雄委員（自民）から、札幌南高等学校教諭の補習塾問題に関し、その対処方について要望。

## 特別委員会

### 総合開発調査特別委員会

○9月25日（火） 午後1時34分、第1委員会室  
において開議、午後1時59分  
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

- ① 開発調整部長から、昭和60年度北海道開発関係予算要求の概要について説明。
- ② 開発調整部長から、新計画策定作業の経過について説明。
- ③ 委員長から、道外調査の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ④ 委員長から、さきに実施した昭和60年度北海道開発関係予算に関する中央折衝並びに道内の開発事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ⑤ 委員長から、青函トンネルの有効利用に関し、日本鉄道建設公団から状況等を聴取のため、委員会協議会を開催することについては、異議なく決定。開催時期等については、委員長に一任することとした。

### 石炭対策特別委員会

○9月25日（火） 午後1時30分、第11委員会室  
において開議、午後1時35分  
散会

委員長 伊藤 豪（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した「産炭地域6団体全国大会」への出席及び「北海道石炭対策連絡会議」に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

本日聴取した陳情

石炭鉱業の振興について

留萌市長

○10月22日（月） 午後2時33分、第11委員会室  
において開議、午後2時34分  
散会

委員長 伊藤 豪（自民）

- ① 委員長から、付託の請願について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることははかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、道外調査及び炭価等に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。

### 北方領土対策特別委員会

○9月25日（火） 午前11時50分、第3委員会室  
において開議、午前11時59分  
散会

委員長 野村 權作（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した昭和60年度北方領土関係国費予算に関する中央折衝及び道内調査の概要について、それぞれ報告書により報告、異議なく了承。
- ② 領対本部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 領対本部長から、参議院の沖縄及び北方問題に関する特別委員会及び外務委員会の北方領土視察について説明の後、委員長から、本件に関し本委員会から委員を派遣することについてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ④ 領対本部長から、「北方領土返還要求のつどい」の開催等について説明の後、委員長から、本件及び他府県議会に対する北方領土返還の決議要請のため、本委員会から委員を派遣することについてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○10月23日（火） 午前11時38分、第3委員会室  
において開議、午後零時12分  
散会

委員長 野村 權作（自民）

- ① 領対本部長から、昭和59年度北方領土返還促進使節団の国連派遣について説明の後、委

員長から、本件に関し、本委員会から榎林巖副委員長（社会）を参加させることについてははかり、異議なく決定。

- ② 岩瀬正人委員（自民）から、北方領土に関する国際的な動き、知事一行が国連に行き訪問する国連代表部にソ連も含まれるか、中ソ友好親善根室市議会訪ソ団が、ヒザを断われた経緯、知事の訪ソの新聞記事等

（関連して、和田勝之委員（自民）から、アメリカの外交文書の公表、委員長から国連派遣使節団について）

質疑、意見及び要望があり、領対本部長から答弁。

### 公害対策特別委員会

○9月25日（火） 午後1時21分、第2委員会室  
において開議、午後1時28分  
散会

委員長 佐々木行雄（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した道内調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 生活環境部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 生活環境部長から、札幌圏都市計画道路1・3・1札幌自動車道、忠別ダム建設事業及び苫小牧東部大規模工業基地中央緩衝緑地帯（E地区）緑地造成計画に係る環境影響評価の実施状況について報告。

### エネルギー問題調査特別委員会

○8月16日（木） 午後1時6分、第11委員会室  
において開議、午後2時45分  
散会

委員長 宇野 眞平（自民）

- ① 委員長から、今後の委員会運営に関する件について、(1)付議事項のうち当面高レベル放射性廃棄物に関する件について審議すること、(2)審議の方法は通告の形式によること、(3)発言の順位は本会議における一般質問に準

ずること、(4)委員外議員の発言の取り扱いについては、その都度委員会にはかり決定することをはかり、異議なく決定。

- ② 商工観光部長から、原子力発電、核燃料サイクル及び高レベル放射性廃棄物について概要説明の後、

久田恭弘委員（自民）から、本委員会の使命と理事者の対応姿勢、道内の電源構成と需給の実態及び将来見通し、本道における原子力発電の必要性、放射線の安全対策、廃棄物の処理処分にかかわる関係機関の役割分担、貯蔵工学センターの立地にあたっての電源三法の適用などについて

藤井虎雄委員（社会）から、北電の施設計画に基づく最大需要電力の見通し、施設計画の策定方法、電源構成の見直し、核燃料の再処理にあたっての技術問題と経済性などについて

質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。

- 8月17日（金） 午前11時11分、第11委員会室において開議、午後4時57分  
散会

委員長 宇野 眞平（自民）

- 核廃棄物等にかかわる質疑に入り、  
中川義雄委員（自民）から、エネルギー対策調査費の性格、調査結果の公表の方法、誘致にあたっての知事判断、高レベル廃棄物に関する我が国の研究開発機関の役割、ガラス固化体貯蔵施設及び工学センターの安全性についての認識、原因者責任主義についての見解、幌延町議会の誘致決議についての認識、周辺地域住民意向調査などについて

小田原要四蔵委員（社会）から、我が国の石油需要構造、電力料金の決定方法、主要電力会社における使用済核燃料の再処理の実情、主要電力会社の電源種別発電量及び損害保険料の額、放射線の生物効果などについて質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。

- 8月20日（月） 午前11時10分、第11委員会室において開議、午後4時38分

散会

委員長 宇野 眞平（自民）

- ① 核廃棄物にかかわる質疑を続行、  
久田恭弘委員（自民）から、国から協力依頼があった場合の道の対応、貯蔵工学センター構想の認識、誘致希望地区住民の意図、関係市町村長からの意見聴取及び関係住民への対応、本特別委員会の設置目的及び審議の結果出された結論に対する対応、泊原発の進捗状況と反対派の反対運動の論拠、原発の新規立地についての見解、実廃液による固化試験の年次別研究内容などについて

藤井虎雄委員（社会）から、動燃が配布した資料内容の疑義、ガラス固化体の耐久性などについて

川口常人委員（自民）から、我が国エネルギーの今後の見通し、我が国代替エネルギーの開発導入についての現状把握、道におけるエネルギー開発の現状、原子力開発利用長期計画についての所見、安全性についての一般概念、社会的経済的安全性と理論的安全性の相違、原子力委員会及び原子力安全委員会の役割と機能などについて

質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。

- ② 委員長から、調査研究のため9月10日から12日までの3日間、東京都及び茨城県においての道外調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- 10月22日（月） 午後3時24分、第11委員会室において開議、午後3時30分  
散会

委員長 宇野 眞平（自民）

- ① 委員長から、付託の請願について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。  
② 委員長から、次回協議会を10月29日午前10時から開催したい旨をはかり、異議なく決定。  
③ 委員長から、さきに実施した放射性廃棄物の研究及び貯蔵施設の道外事情調査について、報告書により報告。異議なく決定。

## 予算特別委員会

○10月17日(水) 午後3時10分、第1委員会室  
において開議、午後3時19分  
散会  
委員長 高木 繁光(自民)

### 正副委員長の互選

- ① 高田忠雄臨時委員長(道政)から、委員長互選の方法についてはかり、吉野之雄委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって高木繁光委員(自民)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、久田恭弘委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって輪島幸雄委員(社会)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後3時15分休憩、午後3時16分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は、商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会で行うことをはかり、異議なく決定。
- ④ 各分科会の委員の選任についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

### ○第1分科委員(15人)

今津 寛(自民)	国本 康夫(自民)
平井 進(自民)	村田 雄平(自民)
菊地 芳郎(社会)	一野坪 勉(社会)
工藤 啓二(公明)	青山 章(自民)
小田部善治(自民)	久田 恭弘(自民)
岩田 徳弥(自民)	輪島 幸雄(社会)
岩崎 守男(社会)	星野 健三(社会)
西村 慎一(道政)	

### ○第2分科委員(15人)

遠藤 常二(社会)	相沢 武彦(公明)
-----------	-----------

岩瀬 正人(自民)	小野寺 勇(自民)
酒井 芳秀(自民)	高橋 一史(自民)
高田 忠雄(道政)	佐々木行雄(自民)
橋 浪蔵(自民)	川口 常人(自民)
佐々木利昭(自民)	吉野 之雄(社会)
渋谷 澄夫(社会)	湯本 芳志(社会)
笠島 保(社会)	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことについてはかり、異議なく決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 委員外議員の発言の取り扱いについては、その都度委員会にはかり決定することとした。
- ⑨ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑩ 本委員会の運営について、正副委員長及び分科正副委員長をもって構成する理事会を設置しその協議により運営すること、正副委員長の配分のない会派についても理事会に出席願うことについてはかり、異議なく決定。

## 第1分科会

○10月17日(水) 午後3時22分、第1委員会室  
において開議、午後3時33分  
散会  
第1分科委員長  
久田 恭弘(自民)

### 正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に久田恭弘委員(自民)、分科副委員長に一野坪勉委員(社会)をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道

政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、今津寛委員（自民）、菊地芳郎委員（社会）、西村慎一委員（道政）及び工藤啓二委員（公明）をそれぞれ選出。

- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○10月18日（木） 午前11時13分、第1委員会室において開議、午後5時30分散会  
第1分科委員長

久田 恭弘（自民）

- ① 民生部所管に対する質疑に入り、

水岡 薫委員（自民）から、

障害者の福祉対策に関し、障害者に関する北海道行動計画に基づき進めてきた施策、新知事が行った新たな事業、今後の行動計画の推進方策、行動計画と新福祉計画との関連、在宅福祉対策の現状、大阪府・川口市のユニークな在宅福祉サービス体制をとり入れる考え及び道の対策、授産施設の設置状況と入所状況及び施設整備促進の考え、小規模通所授産施設の状況と道費助成の見直し、授産事業振興センターの他県の設置状況と事業内容及び道において設置する考え、心身障害者総合相談所建設の今後のスケジュール、住民反対運動の受け止め方等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があって、民生部、公安委員会及び企業局所管に対する質疑を終結。

- ② 衛生部所管に対する質疑に入り、

今津 寛委員（自民）から、

精神障害者対策に関し、本道の精神障害者数及び入院・通院別数、通院患者が増加している理由、保健所での精神衛生対策の状況、旭川保健所の精神衛生活動の実態、精神衛生センターの役割りと増設の考え、社会復帰学級事業の拡大対策、痴呆性老人及び情緒障害児の所管問題、精神障害者の真実の姿のPRと社会復帰施設の活動状

況、社会復帰施設の不足に対する認識、道医療基本計画の中の社会復帰施設の設置状況、職親事業の実施状況と職種の特徴、職親事業の協力奨励金の拡大対策、小規模作業所に対する補助制度の創設、道精神障害者家族連合会への助成拡大の考え、精神障害者福祉法の制定を国に働きかける考え等について

高橋 庸委員（社会）から、

- (1) 救急医療情報システムに関し、医療情報システムの調査方法とその結果、救急医療情報システムの調査視点と他府県の実施状況、道として救急医療情報システムをまだ導入できない理由、医療情報システム小委員会の検討状況とモデル的導入の考え
- (2) 覚せい剤の乱用防止対策に関し、覚せい剤乱用による地域的汚染の状況と啓発事業の内容、覚せい剤乱用防止推進員の活動促進と啓発活動の充実対策等について

相沢 武彦委員（公明）から、

エキノコックス症対策に関し、汚染拡大の経緯、エキノコックス症のライフサイクルに対する認識、汚染重点地域指定の根拠、キタキツネ補獲の根拠と生態、重点地域再検討の必要性の有無、汚染地域の認識と礼文島の成功例、アイスランド等諸外国のエキノコックス症対策、野犬対策と住民に対する啓蒙、エキノコックス症の医学的研究の強化、免疫化の問題、衛生教育推進の道の取組み、重点地域の健康診断の実施と飲料水対策、犬、猫の汚染実態と対策、植物媒介の研究、解剖検査の施設整備充実の考え、キツネの輸入状況とチェック体制、へい死獣畜の処理対策等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、衛生部所管に対する質疑を終結。

○10月19日（金） 午前11時11分、第1委員会室において開議、午後5時13分散会  
第1分科委員長

久田 恭弘（自民）

- ① 生活環境部所管に対する質疑に入り、

綿貫 健輔委員（自民）から、

(1) 消費生活協同組合に関し、生協に係る事務が生活環境部に移った経緯と支庁の体制、生協の実態と問題点、道央市民生協の苫小牧市での問題点と対応、床面積500㎡未満の中規模店出店に対する道の強い指導対策、釧路市民生協の問題点と今後の見通し、標茶生協の合併問題と道の指導、地域生協のトラブル多発と生協法等関係法の整備の推進

(2) 交通安全指導員に関し、設置状況、職務内容及び処遇、道として交通安全指導員に対しての援助と環境整備等について

木下 一見委員（道政）から、

(1) B & G財団問題に関し、道内における施設の実績とその評価、B & G財団及び船舶振興会の福祉施設に対する補助が打ち切られた理由、今後の関係修復策と財団との対応策、北教組大会で施設誘致を断念した事実及び見解

(2) 全天候多目的スタジアムの建設に関し、調査検討の経過とスタジアム建設構想の内容、収支予測の内容と建設構想の関係、59年度の調査計画の内容と結論の時期、全天候スタジアムの建設に対し前向きに取り組む考え等について

大橋 見議員（共産）から、

民間団体に対する補助に関し、社団法人総合文化開発機構設立の経過、設立総会と許可申請受理日との関係、開発機構の借入金の実態の有無、同居団体の内容承知の有無、開発機構の決算処理と自己PRの適正の有無、開発機構の経理等と道の法人に対する指導、開発機構に補助した理由と補助対象事業の適否等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって、生活環境部所管に対する質疑を終結。

○10月20日（土） 午前10時41分、第1委員会室において開議、午後零時28分閉会

第1分科委員長

久田 恭弘（自民）

① 開発調整部所管に対する質疑に入り、岩本 允委員（自民）から、

国土利用計画法に関し、法の目的、効果、同法における知事の権限、土地取引に伴う届け出書の記載事項、損失補償費の記載漏れの場合の取り扱い、補償費に対する価格制限の有無、土地売買等に係る届け出書の記載方法について周知の必要性、法改正に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があって、開発調整部所管に対する質疑を終結。

② 総務部所管に対する質疑に入り、

山口 真人委員（自民）から、

今定例会に計上された補正予算に関し、予算計上にあたっての基本的な考え方及び主要内容、道債発行をもって財源としたことによる後年度への影響、景気対策に対する取り組み姿勢と予算措置等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁があって、総務部所管に対する質疑を終結。

③ 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

## 第 2 分 科 会

○10月17日（水） 午後3時23分、第2委員会室において開議、午後3時34分散会

第2分科委員長

吉野 之雄（社会）

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長に吉野之雄委員（社会）、分科副委員長に岩瀬正人委員（自民）をそれぞれ選出。

② 付託案件の審査日程、質疑方法について協議決定した。

③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、小野寺勇委員（自民）、遠藤常二委員（社会）、高田忠雄委員（道政）及び相沢武彦委員（公明）をそれぞれ選出。

④ 委員外議員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。

- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○10月18日（木） 午前10時15分、第2委員会室  
において開議、午後4時10分  
散会

第2分科委員長

吉野 之雄（社会）

- ① 水産部所管に対する質疑に入り、

岩瀬 正人委員（自民）から、

内水面漁業振興対策に関し、内水面漁業振興に対する道の基本的な考え方、最近5カ年の内水面における水揚げ高、内水面漁業振興についての問題点、今次の漁業権の一斉切替えにおける内水面漁業権の設定状況、支笏湖における漁業権設定に対する内水面漁業管理委員会での取り扱い、支笏湖の遊漁規則と取り締まり体制及び今後の管理体制のあり方、ひめます資源の利用方法、支笏湖の遊漁規制と漁業権問題に対する今後の取り組み、河川におけるヤマベの罹病に対する現状認識、発展計画における「河川の開発促進」の具体的内容等について

松崎 義雄委員（自民）から、

日本海の貧栄養対策に関し、海に施肥する実験事業の概要、コストダウンのため水産物の残滓を直接利用することに対する見解、この実験事業の継続、拡大して実施する考え、施肥を行う際沿岸の海流状況を把握する必要性、来島グループが研究しているバイオリキッドシステムの内容、関係省庁の評価、業界及び関係市町村の反応等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって水産部所管に対する質疑を終結。

- ② 林務部所管に対する質疑に入り、

土屋 良三委員（自民）から、

林産業の振興に関し、林産業に対する現状認識、建築材需要の最近の動向、道の持ち家建設資金の木造住宅の割増し優遇措置の徹底、製材工場の過剰設備の解消の状況、製材業の再編整備促進事業の実績と合板を事業の対象外とした理由、木材産業再編整備緊急対策事業の内容と効果、過剰設備の廃棄についての今後の進め方、新規事業として予定して

いる木材産業拠点整備緊急対策事業の内容、カラマツ除間伐材の利用の開発、道有林原木の価格引下げに対する見解等について  
質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

- ③ 土木部所管に対する質疑に入り、

土屋 良三委員（自民）から、

有線音楽放送線の道路占用に関し、道内における有線音楽放送の事業者数と組織、営業許可の手續、道路の占用許可を要することの根拠、添架物件に対する道路管理者としての見解、音楽放送線の不法占用の状況、過去の裁判における不法占用者の主張内容、不法占用に対する国の指導及び道の対応、今後における不法占用に対する取り組み方針、音放線に係る道路占用料金の改定に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部所管に対する質疑を終結。

- ④ 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

大橋 見議員（共産）から、

小樽運河問題に関し、小樽活性化委員会の構成メンバー、委員会の性格、「小樽運河を守る会」及び「小樽運河百人委員会」の代表に活性化委員会への参加を呼びかける考え等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

○10月19日（金） 午前10時16分、第2委員会室  
において開議、午後5時34分  
散会

第2分科委員長

吉野 之雄（社会）

- ① 農地開発部所管に対する質疑に入り、

山口 真人委員（自民）から、

道開発局が発表した「昭和60年代農業基盤整備事業の基本方向」に関し、基本方向策定の背景と道の参画の有無、地元意向の反映、農地整備の現況に対する認識と目標年次における整備率、計画達成のための年次計画及び計画事業の具体的内容、現在事業を継続実施している地区の「基本方向」における取り扱い、本道における開発可能地及び権利関係の

調整の状況、計画事業量を達成するため新たな事業方式の導入を検討する考え、事業実施に伴う地元負担及び負担軽減策等について質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって、農地開発部及び労働部所管に対する質疑を終結。

② 商工観光部所管に対する質疑に入り、

岩本 允委員（自民）から、

拘束性預金に関し、道内の金融機関における拘束性預金の実態、信用組合において比率が高い理由、金融機関に対する苦情の状況、拘束性預金に係る大蔵省通達と信用組合についての取り扱い、道内の金融機関における苦情処理窓口の設置状況、道内の信用組合への立入検査による拘束性預金の解消、今後の指導の徹底等について

山口 真人委員（自民）から、

石狩湾新港建設に係る海岸道路に関し、海外道路建設に係るこれまでの経過、本問題についての道と小樽市との合意内容、今後の取り組み姿勢等について

伊達 忠一委員（道政）から、

道工鉱業開発促進条例に関し、条例改正後の団地の追加指定の状況、室蘭市を地域指定する考え、条例改正にあたっての道議会の附帯意見の尊重の意思及び現行条例の見直しの検討状況、条例の適用による補助実績、制度の実効性を高めるための改善策、今後の積極的な企業誘致に対する取り組み等について質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって、商工観光部所管に対する質疑を終結。

③ 農務部所管に対する質疑に入り、

酒井 芳秀委員（自民）から、

牛乳の消費拡大対策に関し、全国及び本道の酪農家戸数、乳牛飼養頭数の推移、生乳生産量の状況、原料乳の用途別数量及び販売価格、牛乳の道外移出の状況と問題点、全国及び本道の飲用牛乳の消費動向、道がこれまで実施した牛乳の消費拡大のための対策、ミルクキャンペーンの内容と成果、最近のキャンペーンの状況、今後の牛乳の消費拡大に対する取り組み方法、列車、旅館、ホテル等でのLL牛乳の活用に対する考え、乳製品の輸入状況と今後の対応策、酪農の農業における位

置づけと今後の振興策等について

操上 良宏委員（自民）から、

- (1) 米の減反緩和の見直し、他用途利用米の作付状況及び明年度の見直し、他用途利用米に対して積極的に取り組む考え
- (2) 農業共済制度の見直しに関し、農業共済制度の見直しの背景とその動向、見直しの内容及び道の要請した事項の反映の有無、制度改正に伴う影響、掛金に係る負担増と今後の対応策
- (3) 野菜の生産及び流通に関し、最近の本道における野菜の消費動向、道内における野菜の消費拡大策、他府県への野菜移出の状況及び今後の積極的な取り組み、中国野菜の生産に対する見解、本年のキャベツの供給過剰に対する対応、野菜の生産及び流通に係る行政の一元化に対する見解
- (4) 農作業における事故防止対策に関し、道の実施している事故防止対策、事故発生の主な原因、トラクターの安全フレーム装着に対する指導状況、婦人、高齢者の事故発生状況、今後の事故防止対策の取り組み等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって、農務部所管に対する質疑を終結。

○10月20日（土） 午前10時42分、第2委員会室において開議、午後零時49分閉会  
第2分科委員長

吉野 之雄（社会）

① 教育委員会所管に対する質疑に入り、

橋 浪蔵委員（自民）から、

- (1) 学級編制に関し、会計検査院指摘の事実関係及び道教委の実態調査の必要性、教育長の今後の対処策
- (2) 北海道教育長期総合計画に関し、計画の進捗状況と計画以外の施設の整備状況、道立高校不燃化改築の目標達成率、整備対象校の今後の整備計画、道立高校の柔剣道場の整備状況、教育内容改善への取組み、小樽市の小中学校における教育課程の改善状況、計画策定以降の少年非行件数の推移と傾向及びこれに対する施策、女子少年非行の現状、特質と要因の認識及び道教委の対

策、高校生の中途退学の実態と防止策、苫  
東基地内の遺跡保護のあり方、埋蔵文化財  
の専門職員の確保

- (3) 高等学校長期収容対策に関し、高等学校  
長期収容対策検討協議会の中間報告に対す  
る具体的対策のスケジュール、中卒者増減  
の三類型、臨時応急的措置の内容と措置の  
必要な地域、胆振第2学区の中卒者の推移  
と進学率の推移及び新設校の必要性
- (4) 非木造校舎の改築に関し、調査基準定式  
化の有無、ブロック建物の耐力度調査の必  
要性、非木造校舎の改築に対する教育長の  
考え等について

**大橋 見議員（共産）**から、

- (1) 高校入試にかかる全日制普通課程への面  
接導入に関し、選抜実施要領の一部改正の  
機関と経過、臨教審の影響の有無、職業学  
科等の面接導入実施の評価、面接導入に伴  
う受験生の負担増に対しての考え、中学校  
長会等現場との協議
- (2) 高校の長期収容対策に関し、教育長計と  
協議会中間報告との矛盾、臨時応急的措置  
が教育条件の低下となり教育長計と矛盾す  
ることに対する見解、中間報告での公立・  
私立間の比率と問題点、石狩圏の65年度の  
収容状況予測及び新設校開設の考え、教育  
の条件整備に対する認識等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があっ  
て、教育委員会所管に対する質疑を終結。

- ② 分科委員長から、付託案件に対する審査報  
告について、分科委員長に一任されたい旨を  
はかり、異議なく決定。

の計上にあたっての基本的な考え方、景気動  
向の的確な把握とこれに対応した景気対策予  
算計上の必要性

**大橋 見議員（共産）**から、

小樽運河問題に関し、活性化委員会の目  
的、性格、メンバー、小樽市長の参加を要請  
した理由、運河の全面保存を主張した団体の  
代表者が活性化委員会に参加することに対す  
る見解、この委員会の今後の運営方法等につ  
いて

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があっ  
て知事に対する総括質疑を終結。付託案件に対  
する意見調整のため午後零時26分休憩、午後零時28分再開。

- ③ 委員長から、議案第1号ないし第6号は原  
案可決、報告第1号及び第2号は承認議決と  
することについてはかり、異議なく決定。
- ④ 付託案件に対する委員長報告について、委  
員長に一任することについてはかり、異議な  
く決定。
- ⑤ 委員長から、付託案件の審査終了にあっ  
てあいさつがあった。

---

○10月22日（月） 午前10時46分、第1委員会室  
において開議、午後零時30分  
閉会

委員長 高木 繁光（自民）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会におけ  
る審査の経過について報告。

- ② **知事に対する総括質疑**に入り、

**山口 真人委員（自民）**から、

景気浮揚と景気対策予算に関し、道内の景  
気の現状と見通し、景気対策に係る補正予算

## 企業会計決算特別委員会（58年度決算）

○59年7月23日（月） 午後4時24分、第1委員会室において開議、午後4時33分散会  
委員長 吉田英治（社会）

### 正副委員長の互選

- ① 野村權作臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、岩本允委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって吉田英治委員（社会）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、長岡寅雄委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって土屋良三委員（自民）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営協議のため、午後4時28分休憩、午後4時30分再開。  
休憩中協議の結果、本委員会の運営に当たっては、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名計6名の理事を選びその協議により運営することをはかり、異議なく決定。理事には、岩本允委員（自民）、国本康夫委員（自民）、長岡寅雄委員（社会）、大内良一委員（社会）、伊達忠一委員（道政）及び工藤啓二委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員会の申し合せ事項についてはかり、異議なく決定。

### ○申し合せ事項

1. 質疑の方法は、通告の形式によることとし、一括してこれを行うこと。ただし、一問一答の形式により行う場合は、その旨を委員長に申し出ること。
2. 発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること。
3. 委員の交代は、原則として認めないこと。
4. 資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行うこと。
- ⑤ 委員外議員の発言の取り扱いについて、委員会の決定により、委員の通告質疑終了後に発言を許可すること、書面審査及び資料要求は認めないことに決定。

- ⑥ 本委員会の運営方法及び審議日程については、理事会において協議、決定することとした。

○7月25日（水） 午後7時47分、第1委員会室において開議、午後7時55分散会  
委員長 吉田 英治（社会）

- ① 委員長から、議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ② 審査日程について、配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ③ 報告第60号ないし第66号を一括議題とし、衛生部長、林務部長、住宅都市部長及び公営企業管理者から配付の資料により各会計決算の概要について説明の後、代表監査委員から各会計決算に対する審査意見について説明。
- ④ 決算審査のため必要な資料の要求についてはかり、異議なく決定。
- ⑤ 付託の報告第60号ないし第66号について閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 委員長から、企業会計決算に係る現地調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ⑦ 審査日程について、8月1日から4日まで、6日、7日、10日、11日、13日から18日まで、20日、22日から25日まで、27日、の20日間を書面審査日とすることに決定。
- ⑧ 書面審査会の運営について、(1)書面審査室は第2委員会室に設置し、使用時間は午前10時から午後5時までとする。(2)書面審査の方法は一般会計決算と同様とし、決算書に基づく関係部局からの説明聴取並びに証拠書類及び提出資料の閲覧等により行い、書面審査室備えつけ資料の室外への持ち出しは禁止することとした。

○8月21日（火） 午前10時23分、第1委員会室において開議、午後2時13分散会  
委員長 吉田 英治（社会）

- ① 委員長から、7月25日の委員会決定に基づ

く資料の提出があった旨報告。

② 委員長から、さきに実施した企業会計決算に係わる現地調査の概要について報告書が提出されている旨報告、異議なく了承。

③ 報告第61号（昭和58年度北海道有林野事業会計決算に関する件）を議題とし、林務部所管に対する質疑に入り、

出村 勝彦委員（自民）から、

(1) 58年度道有林野事業の経営収支に関し、決算の概要と事業の成果に対する評価及び反省点、損失額が決算で大幅に減少した理由、販売収入の過去2年間の実績と比較した今後の見通し、併用事業の拡大状況と結果、不用額と予算編成との関係、予算編成時の予算の見積と前年度繰越資金との関係、収益的収入の増と支出における不用額及び資本的支出における不用額の理由、道有林野事業会計における累積欠損金の推移と主な原因及び経営に及ぼす影響、育林事業が計画を下回った理由、各事業が前年対比で下回った理由、基本計画達成の見通し、経営の現状認識と経営見通し

(2) 道有林野事業の経営改善に関し、事務事業の合理化・効率化及び経営収支の改善に対する取り組みと成果に対する評価、外部資金の導入を含めた抜本的経営改善対策、収入の確保や支出の合理化を図るための自主的改善策、基本計画達成のための一般会計からの資金援助の考え及び基本計画変更の考え、経営改善のため資産を有償で貸付ける考え及び経営改善に対する現状認識と今後の取り組み、経営改善の今後のスケジュール及び一般会計予算措置に対する考え

(3) 道南杉材の利用促進対策に関し、杉人工林面積と蓄積の推移、道有林の状況と今後の見通し、杉材の代採量の推移と利用状況、道内・道外への出荷状況、道内杉材が原木のまま道外へ移出される理由、道の杉材利用促進対策、スギ材流通促進対策事業の概要、道南スギ流通センターの設置場所及び利用状況、杉材の需要喚起のための常設展示等の考え、道有林としての杉利用促進に対する対処と今後の方針、公営住宅や公共建築物に対する利用状況と今後の計

画、道南杉の材質に対する認識と今後の対策、杉専門工場の建設及び新商品開発などの考え、国産材産業振興資金や林産業振興対策資金など制度資金の利用状況、制度の普及と融資枠拡大の考え、松前地域の杉専門工場建設計画や新商品開発検討の状況及び道としての対処等について

関連して、

佐々木 行雄委員（自民）から、

(1) 58年度道有林野事業の経営改善に関し、木材市況に対するとらえ方、木材の販売価格決定の状況、企業会計発足時点の立木の評価、市場価格形成の要因、立木売却原価決定における変動要因、マニュアルを再検討する考え、需要者のニーズに合わせた経営姿勢、原価積算の方法検討の考え

(2) 道有林野事業の経営改善に関し、企業会計で経理している県有林の有無、経営体質改善のための対策と姿勢等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

○ 8月28日（火） 午前10時30分、第1委員会室において開議、午後2時55分散会

委員長 吉田 英治（社会）

○ 報告第63号（昭和58年度北海道電気事業会計決算に関する件）、報告第64号（昭和58年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件）、報告第65号（昭和58年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件）及び報告第66号（昭和58年度北海道有料道路事業会計決算に関する件）を一括議題とし、企業局所管に対する質疑に入り、

小野寺 勇委員（自民）から、

(1) 道営電気事業会計決算に関し、道営発電所の現況と経営状況、道営で電気事業を行う意義、道営電気事業の地域に対する貢献、電気事業経営の今後の基本的考えと計画、これからの水力開発の目途、滝ノ下発電所の建設計画の具体的概要及び調査に当たっての北電との協議の状況、具体的協議の内容、建設推進に当たっての北電との合意の必要性、電気料金算定の概要、総括原

働への事業報酬算入の有無、減債等積立金の率を下げたことの妥当性、経営体質改善の必要性、特別償却を行わない理由、起債金利負担是正の考え、水力発電の使用機器発注における契約手続等に対する疑義

- (2) 工業団地開発事業会計に関し、企業局が保有している土地の所在地・面積・保有価額の現状、総原価等の推移と増減の理由、58年度の土地売却収益の内容及び土地処分計画、苫東工業用地の未買収の有無、未買収地に対する見解と対処方法及び土地の所有者、現在保有している土地の売却計画、総括原価方式による土地売却計画への所見、苫東工業基地用地開発及び売買の基本協定に対する考え、用地売却に対する具体的対策とその時期、住宅団地用地売却に対する今後の対策と基本的認識、有効活用の方策実現の見通しと期限を限定し検討する考え

- (3) 有料道路事業に関し、借入金等の返済や施設等の処分の状況、一般会計からの借入金に係る利息への対処、配置職員の減員等異動の状況、有料道路会計に対する所見等について

**大内 良一委員（社会）**から、

- (1) 有料道路事業に関し、無料化に踏み切った経緯、今後有料道路を経営する考え、全国各県における有料道路の経営内容、景気浮揚と産業基盤整備のため新路線検討の考え

(2) 企業局の将来にかかわる新規事業に関し、新規事業着手に対する見解等について質疑、意見及び要望があり、企業局長及び公営企業管理者から答弁があって、企業局所管に対する質疑を終結。

○ 8月29日（水） 午前10時31分、第1委員会室において開議、午後4時26分散会

委員長 吉田 英治（社会）

- ① 委員長から、委員外議員大橋晃議員（共産）が本委員会に出席し、衛生部所管部分について発言したい旨の申し出に対し、これを許可することをはかり、異議なく決定。

- ② 報告第60号（昭和58年度北海道病院事業会計決算に関する件）を議題とし、衛生部所管に対する質疑に入り、

**国本 康夫委員（自民）**から、

道立病院事業会計決算に関し、道立病院の設置目的と意義、将来展望を踏まえた道立病院のあり方、55年度の道保健医療基本計画検討の考え、58年度の経営改善実施の状況と収支状況、道監査委員の指摘と改善策、赤字の原因、個人病院と道立病院との根本的相違点、市町村立病院と道立病院の医業収支率の現状及び相違点と原因、両病院における給与比率の実態と相違及び原因、道立病院の給与比率が高い理由、羽幌病院の職員配置の現状と根拠、入院患者数と看護単位、外来勤務要員等の職員配置の算出根拠、事務職員の配置人数、給与比率引き下げの方策、道立病院の医師充足対策の現況と今後の見通し、道立病院長期経営計画策定の考え、コンピューター導入による事務処理の合理化と管理機能の強化検討の所見、事務長など職員の処遇改善への見解と推進に当たっての決意等について

**小野寺 勇委員（自民）**から、

道立病院事業会計に関し、札幌北野病院など道立6病院の存立の意義、行政改革の面から見た道立病院のあり方、羽幌病院の職員数縮小検討の考え、病院経営における業務の委託等効率化、職員団体との確認書・協定書の有無、委託契約事務における疑義、道の特殊事情による繰出し基準の内容と繰出し額、医師対策協会への繰出し金の内容、医師対策協会の概要、一般会計からの借り入れ状況と借り入れの利率・限度額、道立病院の経営健全化に対する決意等について

**大橋 晃議員（共産）**から、

道立病院事業に関し、道立病院における公共性と経済性及びその矛盾に対する見解、経営における基本的考え方、累積欠損金の解消に対する関係部との協議状況、累積欠損金解消のための他府県の状況と措置方策、一般会計からの繰り入れ基準見直しの状況、医師確保のための道立病院の性格

づけ、看護婦の配置等合理的な病棟構成への見解、医療器機備品等の予算額と要求額、保健医療基本計画における江差病院の医療機器整備の状況、南檜山医療圏における人工透析施設設置の見通し、道立病院と地域とのかかわり、松前病院の町立移管についての町との協議内容、松前病院の診療体制、北野病院で難病を取り扱うこととなった経緯、北野病院を消化器等を中心とした内科外科病院として充実させる考え、北野病院のあり方と診療体制を住民に周知させる必要性、職員の意見等反映した病院の運営改善等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、衛生部所管に対する質疑を終結。

○8月30日（木） 午前10時28分、第11委員会室において開議、午後1時50分散会

委員長 吉田 英治（社会）

① 報告第62号（昭和58年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件）を議題とし、住宅都市部所管に対する質疑に入り、高橋 一史委員（自民）から、

- (1) 北広島団地開発事業に関し、決算の概要、事業の成果、減額補正の理由、建設改良費の不用額の内容、当初予算調整時における考え方と今後の対処方針
- (2) 企業債等に関し、企業債の返済計画、宅地造成資金の償還方法、宅地処分収入の見通し及び予定どおり進まなかった場合の対処方針、一般会計からの借入金の償還見通し
- (3) 宅地処分計画等に関し、57年度末の用途別残宅地の状況、58年度の処分計画と実績、宅地処分価格の原価要素の内容、処分価格の算定基準、譲渡価格と価格算定方法の変更の理由、譲渡価格の低廉化に対する取り組み状況、団地内の道営住宅の建設計画、公共用施設として利用拡大に向けての検討状況、タウンセンター用地の処分計画と実績、宅地処分の促進のための宣伝・広告に対する取り組み方針
- (4) 北広島団地の地域暖房料金に関し、暖房

料金改定の経緯、暖房料金の低減化のための方策、熱供給会社の経営改善に対する見解

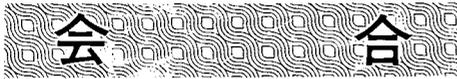
(5) 北広島団地開発事業の完了等に係る問題に関し、事業完了時期の見通し、企業会計閉鎖に伴う諸問題についての対処方針、執行体制の現状と今後の事業縮小に伴う職員の配置転換等に対する対処方針等について質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

② 付託案件に対する意見調整は各派代表者会議において行うことに決定。

○8月31日（金） 午前10時27分、第11委員会室において開議、午後10時30分閉会

委員長 吉田 英治（社会）

- ① 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果について報告の後、報告第60号ないし第66号を一括議題とし、報告第64号及び第66号は認定議決、報告第60号ないし第63号及び第65号は意見を付し認定議決することについてははかり、異議なく決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。



## 全国都道府県議会議長会

○10月24日（水） 全議会議室において、役員会を開催。会長（岩手県議長）のあいさつに引き続き、協議に入り、まず欠員中の副会長の補欠選任について、欠員を生じたブロックから推せんされた者を臨時総会において、総会議長の指名により選出することとした。同じく、欠員中の理事及び監事については、ブロック推せん者を報告し、了承を得ることとした。次に、欠員中の委員長及び副委員長の選任については、関東ブロック推せん者を議長指名において選出するなどそれぞれの選出方法について、決定し、閉会した。

○10月24日（水） 都道府県会館において、臨時総会を開催。会長（岩手県議長）のあいさつの後、協議に入り、欠員中の役員を選任等について、欠員中の副会長には議長指名のとおり、栃木県議長を選任。また、欠員中の理事及び監事については、関東ブロック推せんの議長とすることを了承。理事には埼玉県議長、監事には新潟県議長をそれぞれ選任。次に、欠員中の委員長及び副委員長3名の選任について、議長指名のとおり、農林水産委員会委員長に長野県議長、社会文教委員会副委員長に茨城県議長、建設運輸副委員長に群馬県議長をそれぞれ選出して、閉会した。

○10月25日（木） 都道府県会館において役員会を開催。会長（岩手県議長）のあいさつ及び第84回定例総会開催地（富山県）の議長のあいさつに引き続き、協議に入り、まず、第84回定例総会の提出議案について、各委員長報告のとおり決定。次に、国庫補助負担転嫁反対に関する決議案1件を役員会提出議案とすること、第84回定例総会の日程及び議事運営並びに定例総会議決事項の要望運動方法についてはかり、これ

を決定。次に、第86回定例総会の開催地については、中国ブロックとすることとした。次に、昭和60年度本会予算の大綱案及び明年度海外視察について、原案のとおりそれぞれ決定。次に、全議事務総長から10月31日開催の「地方への負担転嫁反対総決起大会」等の説明の後、閉会した。

## 10都道府県議会議長会（第136回）

○8月29日（水） 東京都において開催。地元東京都議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、協議に入り、まず、静岡県議長から前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について協議決定した、次いで、次回開催地を愛知県に決定の後、全議事務総長から自由民主党地方行政部会・地方行政調査会合同会議に対する地方六団体要望項目内容等について説明の後、閉会した。

- 1 国立病院・療養所の存続等について  
(北海道提出)
- 2 道路整備の促進について  
(神奈川県提出)
- 3 サバ漁業者の救済について  
(静岡県提出)
- 4 高等学校新增設に対する国庫補助制度の充実に  
ついて  
(愛知県提出)
- 5 第9次道路整備5ヶ年計画の完全達成につ  
いて  
(大阪府提出)
- 6 植樹植林事業に対する財政措置の拡充につ  
いて  
(兵庫県提出)
- 7 食品添加物の規制について  
(広島県提出)
- 8 公共投資の拡大について  
(福岡県提出)
- 9 南関東地域における地震防災対策の拡充強  
化について  
(東京都提出)

## 北海道・東北6県議会議長会（第67回）

○9月13日（木） 福島市において開催。地元福島県議長及び知事のあいさつの後、会議議長に

地元議長を選出し、議事に入り、宮城県議長から前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について順次協議、決定し、議決事項の処理方法については、18議案すべて、早急に、政府関係機関に陳情することとし、次回開催地を岩手県に決定。次いで、全議共済会副部長から、最近の中央情勢などについて説明があり、閉会した。

- 1 地方財政対策の強化について  
(宮城県提出)
- 2 警察機動力及び交通安全対策の充実強化について  
(岩手県提出)
- 3 国立病院・療養所の充実強化について  
(北海道提出)
- 4 スパイクタイヤ対策について  
(宮城県提出)
- 5 電源地域振興のための特別措置法の制定について  
(福島県提出)
- 6 地熱等資源開発促進について  
(秋田県提出)
- 7 東北新幹線、北海道新幹線及び青函トンネルの建設促進について (青森県提出)
- 8 国鉄主要幹線の複線化及び電化の早期実現について (青森県提出)
- 9 地方交通線の存続について  
(福島県提出)
- 10 高速自動車道の建設促進について  
(山形県提出)
- 11 地方空港の整備と国際化について  
(宮城県提出)
- 12 地方バスの維持対策について  
(秋田県提出)
- 13 第4次全国総合開発計画の策定について  
(宮城県提出)
- 14 山村振興法の延長について  
(山形県提出)
- 15 新産業都市建設に係る国の財政上の特別措置適用年度の延長について (福島県提出)
- 16 道路財源の確保について  
(山形県提出)
- 17 米の安定供給の確保について  
(青森県提出)
- 18 沿岸漁業振興事業等の推進及び漁海況予報事業等の拡充強化について (岩手県提出)

# 資 料

## 第3回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道畜産振興資金貸付事業特別会計条例	10. 22	10. 25	北海道条例第60号
農村地域の工業導入地区における事業税等の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第61号
北海道ウタリ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第62号
北海道身体障害者更生援護施設設置条例及び北海道身体障害者総合更生援護施設条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第63号
北海道改良普及員資格試験条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第64号
北海道警察組織条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第65号
北海道漁港管理条例の一部を改正する条例	同	11. 26	北海道条例第66号

## 北海道議会議員補欠選挙結果（根室支庁、宗谷支庁各所管区域）

### 1. 根室支庁所管区域（昭和59年9月9日執行）

水沼徳一郎議員（自民）の死去に伴う根室支庁所管区域道議会議員補欠選挙は、8月31日告示され、村田雄平氏（自民）、岩崎和雄氏（共

産）の両氏が立候補し、9日間にわたる選挙戦を展開、9月9日投票が行われ、即日開票の結果、村田雄平氏が当選した。

#### 1) 投票結果

区 分	男	女	計
選挙当日の有権者数	18,497 <sup>人</sup>	18,671 <sup>人</sup>	37,168 <sup>人</sup>
投票者数	9,950	10,235	20,185
棄権者数	8,547	8,436	16,983
投票率	53.79%	54.82%	54.31%

#### 2) 候補者別得票数

候補者名 町名	村田 雄平	岩崎 和雄	有効投票	無効投票	投票総数
別海町	5,553	1,260	6,813	111	6,924
中標津町	7,466	644	8,110	119	8,229
標津町	2,433	250	2,683	73	2,756
羅臼町	2,079	163	2,242	34	2,276
計	17,531	2,317	19,848	337	20,185

### 2. 宗谷支庁所管区域（昭和59年10月7日執行）

坂下 堯議員（無所属）の死去に伴う宗谷支庁所管区域道議会議員補欠選挙は、9月28日告示され、湯佐利夫氏（自民）、坂下啓子氏（無

所属）、谷 弘子氏（共産）の3氏が立候補し、9日間にわたる選挙戦を展開、10月7日投票が行われ、即日開票の結果、湯佐利夫氏が当選した。

#### 1) 投票結果

区 分	男	女	計
選挙当日の有権者数	15,856 <sup>人</sup>	16,899 <sup>人</sup>	32,755 <sup>人</sup>
投票者数	13,818	14,905	28,723
棄権者数	2,038	1,994	4,032
投票率	87.15%	88.20%	87.69%

2) 候補者別得票数

候補者名 町村名	ゆさ 利夫	坂下けい子	谷 弘子	有効投票	無効投票	投票総数
猿 払 村	1,157	855	81	2,093	9	2,102
浜 頓 別 町	1,652	2,058	141	3,851	22	3,873
中 頓 別 町	1,019	1,157	153	2,329	44	2,373
枝 幸 町	3,205	2,034	170	5,409	29	5,438
歌 登 町	1,254	861	70	2,185	7	2,192
豊 富 町	1,623	1,716	372	3,711	36	3,747
礼 文 町	1,938	1,097	48	3,083	18	3,101
利 尻 町	1,729	925	88	2,742	11	2,753
東 利 尻 町	2,271	799	65	3,135	8	3,143
計	15,848	11,502	1,188	28,538	184	28,722



## 8月のメモ

- 1日 ○原水禁大会開幕 原水爆禁止世界大会の国際会議が東京・池の端文化センターで開幕。会議には海外36か国・地域、11国際組織の代表121人を含めて約600人が参加した。
- 3日 ○ひまわり3号、打ち上げ成功 静止気象衛星「ひまわり3号」を載せたN-II型ロケット6号機が鹿児島県種子島の宇宙開発事業団種子島宇宙センターから打ち上げられた。
- 5日 ○泰東丸遺骨収集作業終る 厚生省が5日から留萌管内小平町沖で沈没した樺太引き揚げ船泰東丸の遺骨収集調査に入り、9日終了した。念願の遺骨は回収できなかった。
- 8日 ○重要法案成立し国会閉幕 227日間に及んだロングラン国会、第101特別国会がようやく閉幕した。政府提出法案のうち健保法改正、臨教審設置法などの重要法案など70本が成立。電電公社改革関連三法案は継続審議となり、与野党協議で次期通常国会の冒頭で処理することを決めた。(9日)
- 10日 ○国鉄の分割・民営化を明示 国鉄再建監理委員会は、国鉄再建のためには現在の公社制度を廃止し、分割・民営化を目指す必要があると明示した第2次緊急提言を中曽根首相に提出した。
- 公務員ベア勧告 人事院は59年度の国家公務員の給与改定について、定期昇給を除くベア分として、4月1日から平均6.44%引き上げるよう内閣と国会に勧告した。
- 11日 ○国民8.1人に1人が病氣 厚生省がまとめた「58年度国民健康調査」で判明。昨年の有病率は前年に次ぐワースト2を記録。
- 13日 ○ロス五輪閉幕 7月28日から16日間にわたって開かれた第23回オリンピック・ロサンゼルス大会は12日に最終日を迎え、フィナーレを飾る男子マラソンに続き閉会式が行われた。
- 韓国、中国民航機乗っ取り犯を国外追放 韓国政府は、中国民航機乗っ取り犯で服役中だった中国人男女6人の刑を執行停止して釈放、直ちに国外追放したと発表した。
- 14日 ○臨教審首脳を決定 中曽根首相は、臨時教育審議会の会長に岡本道雄・前京大校長、会長代理に石川忠雄・慶応義塾塾長、中山素平・日本興業銀行相談役をあてることに決めた。委員には堂垣内前知事も含まれている。
- 15日 ○首相、閣僚らが靖国参拝 中曽根首相は終戦記念日に東京・九段の靖国神社を参拝。また14閣僚も参拝。
- 16日 ○熱帯夜、新記録 東京では熱帯夜(最低気温25度以上)が17日間続いて、大正12年の統計開始以来の新記録となり、8月上旬平均気温も東京と札幌で、ほぼ百年の観測史上最高となった。
- 18日 ○夕張市内の6人焼死は保険金殺人 夕張市で5月5日夜、炭鉱下請け会社の作業員宿舎が全焼し、作業員と子ども計6人が焼死、消防士1人が殉職した火事は、下請け会社社長の暴力団組長と妻が作業員に指示した保険金目あての放火殺人と判明。夫妻が手に入れていた保険金は約1億3,500万円。
- 21日 ○甲子園・夏の全国高校野球で取手二高が優勝 甲子園球場での第66回全国高校野球選手権大会決勝戦で、茨城代表の取手二高が大阪代表P.L学園を8-4で破り、全国3,705校の頂点に立った。
- アキノ氏暗殺1周年集会 ベニグノ・アキノ元フィリピン上院議員暗殺事件1周年を記念する追悼反政府集会が同国内主要都市で開かれ、首都マニラの集会には45万人が集った。
- 22日 ○5,600万円入り現金袋盗難 国鉄京都駅山陰ホームで、国鉄から鉄道荷物の運輸業務を委託されている会社の社員を装った男が現金5,600万円入りの布袋を持ち去った。国鉄輸送の現金がだまし取られた事件では、56年3月の函館駅での5,000

万円を上回り過去最高。

- 24日 ○「投資ジャーナル」摘発 警視庁は、投資コンサルタント業界の最大手で、中江滋樹氏が率いる「投資ジャーナル」グループ4社を証券取引法違反容疑で摘発。
- 峰山・小樽運河を守る会会長辞任 53年以来、6年余にわたって小樽運河を守る会の会長として反対運動の先頭に立ってきた峰山富美さん(70)が辞任した。
- 26日 ○'84小樽博閉会 「新しい、海のある生活都市へ」をテーマに、小樽港勝納ふ頭などで開かれていた'84小樽博が閉会した。78日間にわたった会期中の入場者は約168万人。
- 27日 ○世界湖沼会議開く 第1回世界湖沼環境会議が大津市で開幕。海外27か国、3国際機関の代表を含む約2,200人が参加し、世界の湖沼再生を図るための「琵琶湖宣言」を採択、環境アセスメントの制度化などを打ち出した(28~31日)
- 小田急百貨店で狂言強盗 小田急百貨店新宿店のサービス管理部商品管理課出納係室で、同係主任久保誠二(33)が強盗にナイフで刺されて倒れているのをガードマンが見つけた。久保の供述があいまいなことなどから、警視庁と新宿署が追及したところ、現金を盗んだことを隠すための狂言強盗だったと自供。
- 30日 ○泊原発、通産大臣が認可 北電の泊原子発電所の工事計画を審査していた通産省は、同計画を認可した。
- 有吉佐和子さん急死 「恍惚の人」「複合汚染」など社会的な問題を鋭く指摘し続けた作家の有吉佐和子さん(53)が、自宅で急死した。

## 9月のメモ

- 1日 ○洋上で大韓航空機犠牲者の慰霊祭 昨年9月1日、サハリン沖合上空で起きたソ連戦闘機による大韓航空機事件の日本人遺族ら79人がチャーター船で初めて撃墜海域に入り船上慰霊祭を行った。
- 3日 ○政治資金、空前の1,472億円 自治省がまとめた58年政治資金収支報告書によると、昨年、各政党や政治団体が集めた政治資金は前年比35%増の総額1,472億円、政党では共産党が229億円でトップ。以下自民、公明、社会、民社、新自クの順。自党内では派閥やニューリーダーの収入が急増。
- 4日 ○元警官が強奪の短銃で連続殺人 京都市北区の船岡山公園で警ら中の西陣署十二坊派出所勤務、鹿野人詩巡査が襲われ、奪われた短銃で撃たれ死亡した。3時間後、大阪市都島区のサラ金「ローンズ・タカラ京橋店」に短銃を持った男が押し入り、従業員の鈴木隆さんを射殺、現金60万円を奪って逃げた(4日)。現場付近に残された指紋などから元西陣署巡査部長広田雅晴を犯人と断定、千葉県成東町の実家に姿を見せたところを逮捕した。
- 5日 ○カナダ総選挙、進歩保守党が圧勝 トルドー政権を引き継いだ自由党ターナー政権の信を問うカナダ総選挙が行われ、開票の結果、野党でマルローニ党首が率いる進歩保守党が282議席中211議席を占め圧勝した。
- 6日 ○韓国大統領が初来日 全斗煥大統領夫妻が6~8日、韓国の国家元首として史上初めて来日。天皇陛下は皇居での歓迎晩さん会で、日本の植民地支配について「誠に遺憾」と表明。(8日、日韓共同声明を発表。大統領一行は同日午後、羽田発の特別機で帰国した。)
- 7日 ○函館ドック、労組と確認書 函館ドックが6月に人員削減を柱とする新再建計画を組合に提示してから3か月、この間、

労使の交渉は難航を重ねていたが、組合が同意、この日から希望退職募集が始まった。

9日 ○根室支庁所管区域道議補欠選挙で村田雄平氏当選 故水沼徳一郎氏の死去に伴う根室支庁所管区域道議補欠選挙の投票が行われ、即日開票の結果、自民党公認の村田雄平氏（61）が初当選を果たした。

11日 ○百歳以上、1,500人超す 恒例の全国高齢者名簿（長寿番付）が厚生省から発表された。百歳以上の長寿者は1,563人で14年連続で最高記録を更新した。

14日 ○長野県西部地震で死者・不明者続出 中部地方を中心に午前8時48分、マグニチュード6.9の地震が発生。震源地近くの長野県木曾郡王滝村で土砂崩れが起き、死亡・行方不明者29人に達した。甲府など震度4（中震）、東京など震度3（弱震）と、揺れは東北から中国地方まで広範囲にわたった。

○横路知事、三上道議会議長ら訪中 横路知事、三上道議会議長らの訪中団が出発し、7日間の日程で北京、瀋陽、ハルビンの三都市を訪問、北京では胡耀邦総書記との会談も実現し、大きな成果を挙げた。20日午後、帰着した。

17日 ○日米諮問委が報告書 中曽根首相、レーガン米大統領の諮問を受け、日米関係の諸問題の取り扱いを審議してきた「日米諮問委員会」は最終報告をまとめ、牛場信彦日本側委員長が中曽根首相に、バックカード米側委員長がレーガン大統領に、それぞれ提出した。

19日 ○自民党本部に中核派が放火 東京・永田町の自民党本部が火炎放射装置を積んだ車からの放火で炎上、3階から7階まで延べ600平方メートルが焼けた。犯行声明や手口などから、警視庁は成田空港反対闘争を強めている中核派の犯行と断定した。

20日 ○ペイルートの米大使館に爆弾 ペイルートの米大使館別館に爆薬を積んだ車が突込み大爆発。館内にいた米英両国大使が負傷したのははじめ、約50人の死傷者を

出した。

21日 ○東京で1億6,000万円強奪される 金融機関から大口融資を受けるため、車のトランクに1億6,000万円の現金を積んでいた貿易会社社長、同従業員、金融業者が東京都太田区の路上で刃物を持った二人組の男に襲われ、車ごと強奪された。（29日になって、実は被害者を装っていた貿易会社社長石田勝利（36）の仕組んだものとわかった。）

23日 ○最後の蔵前国技館で多賀竜が初優勝 大相撲秋場所は、西前頭12枚目の多賀竜が13勝2敗で優勝、東京・蔵前の国技館はこの場所限りで閉館した。

24日 ○第39回国連総会が開幕 レーガン米大統領は国連総会で演説し、ソ連に対し、米ソ間の問題解決のための定期閣僚協議を提唱した。グルムイコ・ソ連外相も同総会で演説、レーガン政権の核政策を非難（27日）。

26日 ◎第3回定例道議会開会

○中英両国が香港返還で仮調印 中英両国は、1997年に香港の主権を一括返還し、その後50年間、香港の現行社会体制を維持する合意文書に調印した。

27日 ○水稲大豊作が確実 農水省が発表した水稲作柄概況によると、5年ぶりの豊作が確実となった。10アール当たり収量は初めて500キロを突破、史上最高の503キロが見込まれる記録的な大豊作。都道府県別では本道をはじめ17都道府県で史上最高が見込まれる。

○泊原発の本体建設始まる 道内初の原子力発電所となる北電泊原発の起工式が、後志管内泊村の建設予定地で行われた。

○冬季アジア大会、開催地札幌に決定 アジア・オリンピック評議会は27日、新設される冬季アジア大会の第1回開催地を札幌とした。60年末か61年初めごろ開催予定。

28日 ○広島高裁、昨年の衆議院選挙に違憲判決 昨年12月の総選挙をめぐる、「一票の格差」は憲法違反と広島県有権者が起こした衆院定数は正訴訟で、広島高裁は「違

憲」と判決した。

- 29日 ○国鉄岩内線、バス転換へ 道内国鉄の第1次廃止対象線となっている岩内線は、第3回地方協議会で、廃止後バスによる代替輸送を行うことで合意。59年度内にも廃止、バス転換される見通しとなった。

## 10月のメモ

- 1日 ○中国国慶節で軍事パレード 建国35周年の中国は北京で国慶節式典を行い、25年ぶりに復活の軍事パレードには大陸間弾道ミサイルも登場した。
- 競走馬を毒殺、2,000万円詐取 青森県の牧場主らが日高管内新冠町内の牧場に予託していた45万円の競走馬を毒殺して、損害保険会社に「病死」したと偽わり、競走馬に掛けていた保険金2,000万円をだまし取っていたことがわかり、静内署は、牧場主らを詐欺などの疑いで逮捕した。
- 3日 ○東京都北区の新幹線訴訟で和解 住民が建設差し止めを求めるなど、住民、国鉄双方から出されていた訴訟について、東京地裁で和解が成立。国鉄が沿線住民との間に、裁判の場で公害防止対策を文章で示したのは初めて。
- 4日 ○広島カープ、4年ぶり優勝 プロ野球セ・リーグで広島カープが4年ぶり4回目の優勝を決めた。
- 北炭夕張新鉱ガス突出事故、幹部不起訴 93人の犠牲者を出した北炭夕張新鉱のガス突出、坑内火災事故を捜査してきた札幌地検は、業務上過失致死傷、鉱山保安法違反容疑で書類送検されていた林千明北炭夕張炭鉱前社長らについて証拠不十分で不起訴処分にした。
- 5日 ○函館ドック再建、坪内社長受諾 坪内寿夫来島どつく社長は、函館ドックの再建を引き受け新会社の社長に就任することを明らかにした。
- ソ連大学生、亡命求める 観光旅行で来日したソ連の大学生(22)が、小樽市内を観光中、小樽署に亡命を求めて駆け込んだ。道内での亡命事件はこれで7件目。
- 7日 ○宗谷支庁所管区域道議補欠選挙で湯佐利夫氏当選 故坂下堯氏の死去に伴う宗谷支庁所管区域道議補欠選挙の投票が行われ、即日開票の結果、自民党公認の湯

佐利夫氏（56）が、初当選を果たした。

- 8日 ○グリコ・森永脅迫犯人が店頭で青酸菓子エスカレートを続ける一連のグリコ・森永脅迫事件は8日まで、青酸ソーダ入りのチョコレート、キャラメルが大阪、京都、兵庫、愛知のスーパーで見つかった。
- 10日 ○雷管爆発、自衛隊員死傷 十勝管内鹿追町の陸上自衛隊然別演習場で、第5師団第6普通科連隊第2中隊の隊員が訓練のためと国鉄北見保線区から譲り受けた信号雷管を分解処理中、爆発が起り、1人が死亡、9人が重軽傷を負った。
- 12日 ○英保守党大会で爆弾テロ事件発生 英保守党年次大会がブライトンで開幕(9日)。宿泊中のホテルで全閣僚を狙った爆弾テロが発生、サッチャー首相は難を免れたが、下院議員を含む4人が死亡。アイルランド共和軍が犯行声明を出した。
- 13日 ○グリコ・森永事件でビデオ公開 青酸ソーダ入り森永ドロップが見つかった西宮市のファミリーマート甲子園口店の防犯カメラに、不審な男が映っていたことが判明。捜査本部は映像を一般公開した。
- 15日 ○日朝民間漁業協定再締結 日朝民間漁業暫定協定再締結交渉が妥結。朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）が設定した経済水域内で、日本漁船は入漁料なしで操業できるなど一昨年6月失効した旧協定とほぼ同内容で有効期間は11月1日から61年末まで。
- 日高横断道に着工 日高中央横断道（道道静内～中札内線、総延長75キロメートル）が十勝管内中札内村側の道路改良工事から着工した。
- 16日 ○ノーベル平和賞にツツ師 ノルウェーのノーベル委員会は、1984年度のノーベル平和賞を南アフリカの人種差別反対運動黒人指導者、デズモンド・ツツ主教(53)に授与すると発表。
- 17日 ○公立小・中学校教員の人件費補助不正受給 札幌、旭川など道内6市町の公立小・中学校14校で57年度の学級編成に当た

って児童・生徒数を水増し、計14校が各一学級ずつ国の基準を上回る学級設置、教員20人が余分に置配されていたことが、会計検査院の調査でわかった。今回の調査では東京都、神奈川県でも56、57年度にわたって水増しが明らかにされており、教員の人件費など不正受給は本道の約4,000万円を合わせて約10億円に上るものとみられる。

- 18日 ○中標津空港の墜落事故、操縦ミスと委員会報告書 昨年3月11日、中標津空港で、札幌発の日本近距離航空YS11型機が着陸に失敗して墜落、52人の乗客・乗員が重軽傷を負った事故について、運輸省の航空事故調査委員会は事故は機長の操縦ミスによるとする最終報告書をまとめ公表した。
- 19日 ○寝台特急「富士」、飲酒運転で脱線 国鉄山陽線西明石駅の上り三番線に入ってきた宮崎発東京行き寝台特急「富士」15両編成が脱線し、この事故で乗客336人のうち計24人が重軽傷を負った。原因は松本機関士の飲酒による居眠り運転。同機関士は20日、兵庫県警に逮捕された。
- 21日 ○6人乗りイカ漁船消息を絶つ 小樽のイカ釣り漁船「第61啓洋丸」（96トン・6人乗り組み）が、松前の西南西約450キロの海上で、僚船との無線連絡を最後に消息を絶った。その後の捜索により同船の救命浮輪やプロパンガスボンベなどが発見されたことから、同船の遭難は決定的となった。
- 22日 ○第3回定例道議会閉会。  
○広島カープ4年ぶりの日本一 プロ野球日本シリーズはセ・リーグの広島がパ・リーグの阪急を4勝3敗で破り、王座についた。MVPには広島の長島清幸外野手が輝いた。
- 23日 ○フィリピンのアキノ元上院議員暗殺で二報告書 フィリピンのアキノ元上院議員暗殺事件真相究明委員会のアグラバ委員長はマルコス大統領に対し「暗殺は軍人の陰謀」と断定した報告書を単独で提出、当時の空軍航空警備隊長、クストデ

イオ准将を陰謀の責任者とした。同委の残る4人の委員は、ベール参謀総長が事件に関与していたとの別の報告書を大統領に提出した。

- 25日 ○コアラが三動物園へ オーストラリアから友好親善使節として東京、名古屋、鹿児島動物園に贈られるコアラ6匹が成田空港に到着。1歳から4歳のオスで、来月20日、一斉公開される。
- 26日 ○ソ連議員団が来日 ソ連共産党のクナエフ政治局員を団長とするソ連最高会議議員団が6年ぶりに来日。
- 28日 ○天皇賞レースでミスターシービーが優勝四冠馬となる 東京競馬場の第90回天皇賞レースで、一番人気のミスターシービーが優勝した。昨年のさつき賞、ダービー、菊花賞制覇と合わせ、40年のシンザン（五冠）に続く19年ぶりの4冠馬。
- 31日 ○インドのガンジー首相暗殺、インド全土で暴動 インドのガンジー首相がニューデリー市内の官邸付近で、シーク教徒とみられる首相警護員3人に銃撃されて死去。与党ガンジー派国民会議派の幹事長で同首相の長男ラジグ・ガンジー氏が後継首相に就任した。暗殺をきっかけにヒンズー、シーク両教徒の宗教暴動が全土に広がり、多数の死傷者が出て鎮圧に軍が出動、首都など多くの都市に外出禁止令が出た。

北海道議会時報 昭和59年第4号

昭和60年1月10日発行（通巻第36巻第4号）

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第36巻第4号(昭和59年第3回定例会)